

# 資料

基礎集計表

調査票

(Ver. 3 / 5月1日以降使用)

調査地点

調査責任者 稲月 正(北九州市立大学)

実施団体 ころをつなぐ 「よか隊」 ネット

調査協力 一般社団法人 ピースポート災害ボランティアセンター

2016年4月 熊本地震  
車中避難をされておられる方々への支援のためのアンケート  
基礎集計表

0. 車中避難場所 (2016.5.4時点)

場所	車中避難場所(調査地点)	人数	%
熊本市	マルミツ東バイパス店駐車場	9	6.9%
	出水南公園	9	6.9%
	錦ヶ丘公園	7	5.3%
	水前寺江津湖公園	6	4.6%
	サンロードシティ(東区)駐車場	5	3.8%
	北区新地公園	5	3.8%
	出水中学校	3	2.3%
	ハローデイさくらの森店	2	1.5%
	井手の口公園	2	1.5%
	錦ヶ丘(マンション駐車場)	2	1.5%
	香の森公園	2	1.5%
	動植物園駐車場	2	1.5%
	アタックス駐車場	1	0.8%
	横畑公園	1	0.8%
	江津の自宅前	1	0.8%
	桜木小学校	1	0.8%
	出水町のゆめタウンはません店の駐車場	2	1.5%
	西原中学校(熊本市東区)	1	0.8%
	総合運動公園B駐車場北側(熊本市東区)	1	0.8%
	不定	1	0.8%
益城町	グランメッセ熊本(益城町)	51	38.9%
	エミナース	4	3.1%
御船町	御船町恐竜公園	8	6.1%
	御船中学校P	1	0.8%
	御船町スポーツセンター	1	0.8%
	御船町高木(自宅前)	1	0.8%
	七滝中央小前駐車場(御船町)	1	0.8%
大津町	大津運動公園駐車場	1	0.8%
合計		131	100.0%

熊本市内 : 48.1%  
益城町 : 42.0%  
御船町 : 9.2%  
大津町 : 0.8%

※車中泊の場所を聞いた。調査地点に車で来られていた方がおられたので調査地点と車中避難場所は必ずしも一致しない。

## 1. 最初に、今回

車中避難を始められたときのことについてお尋ねします。

(1) いつごろから車中避難(寝泊まり)されるようになりましたか。

月日	人数	%
4月14日	53	40.5%
4月15日	12	9.2%
4月16日	51	38.9%
4月17日	8	6.1%
4月18日	3	2.3%
4月19日	0	0.0%
4月20日	0	0.0%
4月21日	0	0.0%
4月22日	0	0.0%
4月23日	1	0.8%
4月24日	0	0.0%
4月25日	0	0.0%
4月26日	1	0.8%
4月27日	0	0.0%
4月28日	1	0.8%
不明・無回答	1	0.8%
合計	131	100.0%

前震日（4月14日 21:26）：40.5%

本震日（4月16日 1:25）：38.9%

（2）車中避難を始められたのは、どういったご事情でしょうか。

車中避難を始めた事情	人数	%
1. 再び大きな地震があるのではないかと不安なため	99	75.6%
2. 余震が続いていて、自宅で寝るのが不安なため	103	78.6%
3. 自宅に大きな損傷があり、住める状態ではないため	51	38.9%
4. 自宅には目立った損傷はないが、家具などが片付いていないため	28	21.4%
5. いざというときに逃げるためには車が必要なため	47	35.9%
6. 避難所が近くにないため	5	3.8%
7. 避難所での生活より車中避難の方がよいと思うため	73	55.7%
8. 水やガスなど、生活に必要なものが不便なため	25	19.1%
9. その他	18	13.7%
※%は全回答者数(131人)に占める比率		

1. （2）車中避難を始めた事情（自由記述を分類したもの）

<余震が続いていて、再び大きな地震があるのではないかと不安なため>

- ・家の倒壊が心配、ゆれが怖い。安全が大事だから。
- ・自宅がマンションの2階なので、押しつぶされるのが怖い。
- ・地震への不安。水道管が破裂、屋根の損傷。
- ・黄色の紙がはられていた。地震への不安感。
- ・1回目の地震の時は大丈夫だったが、2回目の大きな地震が来て、不安になり、避難した。とにかく不安が一番。
- ・自宅建物が崩れるかもしれないと不安だった。
- ・子どもが家に居るのを恐がった。車の中が安心だった。
- ・マンション・揺れがこわい。
- ・家にいるのが怖い。マンションの4Fなのでとじこめられる気がして、地上でゆれを感じにくいので車中で生活している。
- ・家がこわれる危険を感じて、天井も落ちることがこわいので、車の中を選んだ。

マンションの10Fに住んでおり、逃げられなくなるのが怖くなって、自家用車の座席がフラットになるので車中の方が機動性と安全性とある程度の安心した空間が確保できるため。

- ・マンションの4Fでゆれるのがこわくてすぐ飛び出した。近くの公園に徒歩で避難したが、寒さやトイレを利用するための利便性から車中生活を選んだ。
- ・天井のひび等、住居の被害があり、不安になり避難生活に入った。
- ・益城町から。アパートが危険。今、赤札をはられている。階段の両わきがずれており、家にもひびわれが生じている。家で寝るのはこわいので。
- ・マンションの3Fに自宅があり、ひびが部屋に入っているのが怖い。
- ・赤ちゃん（3カ月）ともう一人小さい子供がいる。小さい子を連れて逃げるのが大変。家は損傷を受けていないがまた大きな地震があると、子どもを連れて逃げられないから。
- ・昼は逃げられるけど夜は寝てしまうから。
- ・本震の際、向かいにある5階建てのビルの1Fが倒壊したため。異常な振動による恐怖のため。
- ・東町団地。建物はどうでもないが階段がでこぼこ。家にいたら危ないと思い、東町小に避難した。
- ・14日に車中泊の後、15日は自宅に戻り寝た。夫が「大丈夫」と言ったので。しかし2回目の大地震で整理ダンスが倒れてきて、肋骨が折れた。病院で固定するものをもらった。足も打撲。（室内の写真を見せてくれた）とにかくこわい。余震がこわい。
- ・14日は家の前で車中泊。15日昼に家に片づけに入って大きな余震を受け怖かったので車でここまで来た。瓦は落ち、壁にひびが入っている。一部損壊か半壊かどうかはわからない。次に地震がきたら耐えられるかわからない
- ・家の中にいたくない。こわい。1回目の後は避難所にいたが、建物は余震で揺れる。音がして怖い。広いところのほうが安全だと思った。
- ・2回目の時は自宅に居た（戻っていた）逃げる準備をしていた。マンションの1階で建物がゆがむと出られないので、怖くて車中泊。みんな軽いPTSD。

- ・家が壊れてしまう不安が有り。マンションの近所の方と4家族で逃げた。現在も助け合いながら公園に居る。
- ・消防局に努めている近所の方の声掛けで近所の4家族と共に避難した。
- ・本震の怖さが残っている。家は一見大丈夫だが診断を受けていないので不安が有り。近所の瓦が落ちて来たりしたので余震の時に庭に居るのも怖い。
- ・高齢の母と同居であり母の不安が大きく車中泊を選んだ。
- ・一人暮らしの為。閉じ込められる怖さが有り。
- ・自宅のガラスも割れている為。帰りたくない。
- ・体育館でスポーツしている時に被災した為。避難所の安全性に疑問が有り。車中生活を選んだ。
- ・以前に震度5の地震を経験した思い出も自宅へ信頼を持ってない原因に成っている。
- ・11階で怖い。
- ・家にいるのが怖い。子供がいて怖がっている。両親の家が全壊。
- ・怖い。建物は大丈夫。判定は黄。
- ・前震で怖かったので、すぐに避難した。本震で家は半壊したので、家にいたら怪我をしていた。
- ・子どもが怖がっている。次の地震で崩れる恐怖。散らかっている。
- ・家にいるのが怖い、隣の家の方と一緒に動いている。
- ・余震が多く、家にいるのが怖い、建物への不安もあるので隣の方と一緒に逃げている。
- ・ガス管が割れた。マンションの6階。コンクリート壁が崩れている。家財道具が壊れている。
- ・家の中がぐちゃぐちゃ。マンションで被災し、子供（小学一年生）がマンションに入るのを怖がるため。
- ・避難所がいっぱい入れない。黄色（応急危険度判定）が貼られたが、土手の西側が（家が高台にある）崩れそうなので。再び住むのは不安。余震がおさまっても戻りたくない。
- ・余震の恐怖感。二度大きいものがあつたということが恐怖の理由。
- ・地震が怖い、車が安全。
- ・危険。柱が倒れて釘など出ている。
- ・家がぐちゃぐちゃになった。たつてはいるが倒壊が心配。家で寝るのは足の悪いばあちゃんがいるが無理。家の調査済みとなっていて、緑だが外観しか見ていないので地震で倒壊が心配。
- ・家が傾いている。（借家）
- ・4/14、コンクリートが盛り上がり、まずは車を出なければ、と。
- ・今は家に戻ってる、家に入るのがこわかった。
- ・アパートが赤札。
- ・家の中がぐちゃぐちゃ。犬がおちつかなかつた。恐怖心がとれず、夜になると動悸がする。近くの小学校の駐車場から今は母がいる避難所の駐車場。人がいると安心。
- ・家が傾いている・要注意紙がはられていた。
- ・マンション/築2年→地すべりを心配、グラウンドが安全ということで車、明るいとう安心

- する。暗くなると怖いので、人のいる所へ。
- ・本震きてから避難。
  - ・自宅のかべの全てにヒビが入っている。水がでない。日中1人であるのがこわい。
  - ・14日は広安西小、15日はグランメッセの避難所にて。その後、北九州の親戚の家に避難。29日は自宅の前で車中泊。家は怖くて戻れません。
  - ・不安、大きい地震が来るかもしれない不安。
  - ・自宅の壁のすべてにヒビが入っている。水が出ない。
  - ・ほぼ震源元ともいえる場所（馬水）に住んでいて、自宅のカベ全てにひびが入っており、水も止まっている。家にいるのが怖いので車上で生活している。
  - ・家に住むことを危険と判断した。子どもが怖がる。
  - ・住めなくはないが、かわらも落ちており、次の地震で外に出た時にそのかわらが飛んで来る可能性もある。子供を守りたい。
  - ・黄色紙が貼られたが、どう住めばいいのかわからないから意味がない。
  - ・自宅周辺から役場に行く道が確保できていた間は炊き出し、ブルーシートはもらうことができていた。雨が降ると雨樋、壁が落ちたり、ヒビが入り危険だった。道がブロックで塞がれるため、これ以上ひどくならないうちに。
  - ・公園の集会所とグラウンドで過ごしていたが、出かけて帰ってきたら、高齢の方以外は出るように言われたため。
  - ・マンションに居たくなかった。余震が怖い。
  - ・不安感、余震が怖い。
  - ・余震が心配で熟睡できない。
  - ・益城に住んでいた。家自体は大きな損傷はなかった。家具が動いて不安になり、通勤できる状況ではないので、道路が無事なところで車中泊を始めた。
  - ・アパートに亀裂が入っている。余震で壊れているのではないかと不安。避難所の情報なども自治体からなかった。他に方法がなかった。
  - ・余震が怖い。子どもが家に居たくない。
  - ・まず怖い。アパートにいと恐怖心が出てしまう。アパート古い。水が止まってる。住もうと思ったら住めるけどいつくるか分からない。
  - ・余震が続いているので怖い。
  - ・家は住めないわけではないが、余震が続き屋内にいるのが怖い。（昼は自宅ですごし、夜間のみ車中生活）
  - ・家が傾いたためと大きな地震への恐怖。家族が一緒にいたかった。
  - ・地震後（14日）後食器が割れた程度だったが、団地（2F）だった上停電もしたのでそのまま車で小学校へ避難した。（車中泊）。その後本震で小学校も危なくなり、消防団の指導で家に近いエミナースへ避難。団地の人たちもいっしょ大きい地震が来るとの不安と余震への不安。
  - ・家が傾いた。地割れがあったのでこわくは入れなかった。
  - ・埋め立地に建てた家が傾いた気がする。
  - ・埋立地の上にあるというだけでこわくなって出た。
  - ・また地震が来るかもしれないと思い家に入れなかった

- ・自宅はそんなに痛んでなかったがまた来るかもしれないと思いこわくて家に入れなかったから。

#### <自宅に大きな損傷がある、住める状態ではないため>

- ・前震後は家にいたが、本震後は、家の前に車をおき、そこで寝ていた。家には家財道具などがあり泥棒が怖かったので、家財を持ち出し、親戚の所に移した後、母と2人で車中生活。家は赤札を張られて、いたみが激しく、寝られない→安心のため車中泊。塀がたおれて車が出せなくなるのが不安で、車中避難。母は19日から足がむくみ、日赤病院に行き、薬をもらった。血栓ができていた。母は今、母の妹（おば）の家にいる。
- ・大きく揺れ、恐怖心。車の中の方が安心。最初、すぐ近くの駐車場にとめた、そこに2~3日いて、車でここに。最近テントを車の横にはっている。
- ・益城町に住居があり、部屋に閉じ込められて怪我をしたため、怖くなって車中生活を始めた。
- ・住んでいたマンションが半壊で立ち入り禁止に。隣のマンションも半壊状態。
- ・家が壊れて住めなくなった。
- ・実家が安永（益城）、犬と一緒に被災、最初は会社の駐車場に1週間いた、家の破れが大きくて怖かったため。
- ・半壊。タンスが倒れ、ガラスが割れ、瓦も落ちた。雨が降ったのでタンスも畳も水浸しで住めない。
- ・14日の揺れで怖くて外に出て 16日の本震で家が壊れた。
- ・古い家に住んでいて大破している為 安全の為に車中に居る。
- ・家が全壊している。長期化を覚悟。
- ・自宅が住める状況ではない。築35年。かわらが3分の1われた。雨降って雨漏りがひどい。車以外に場所がない。
- ・自宅が半壊で住めないような状況。
- ・家が潰れてしまった。
- ・アパートには危険でもう入れない・避難所の張り紙に無料テント貸し出しの情報をみて、グランメッセでボランティアがテントをたててくれた。
- ・半壊で住めない。
- ・大家からアパート退去命令が出された。アパートは入れるけど、大家の話では大きな余震がきたら崩れる。形だけ残っている。
- ・自宅が全壊したため。
- ・アパートが全壊。
- ・自宅には住めない。
- ・借家の屋根・天井が落ちてきた。住めない。
- ・実家の熊本市東区に住む母（母子家庭だった）が気になり、広島より車でかけつけた。しかし、家は赤フダ判定で住める状態ではなく、広木公園へ。家の状態はひびが入り、半壊状態。
- ・家が全壊して、周囲の部落の人みんな避難することになった。中は入れる条件があつては入れないので車中泊。気を遣わなくてよいので車中でもよい。余震でも怖い。



- ・家が全壊してしまい、指定避難所の公民館に逃げたが本震後に「地区の道路が危険になってきた」と消防からの連絡がありテントの準備のあったのでエミナースやっていた。エミナース以外の選択肢は当時なかった。
- ・家がかたむき、住めなくなった。
- ・アパートの前に徒歩で避難した後、日中の片づけをしたが、夜、本震を受け、自宅前の駐車場で自宅の防犯ため車中で一晩過ごしたが、自宅全壊してしまったので近くのグランメッセへ避難した。
- ・前震のときは家の前の家の前のスペースに避難していた。この時私の実家と妹夫婦の家は完全倒壊。家の前のスペースは広いので子供たちと一緒にいて、日が明けてから住んでいた家の片づけをしていた。元々住んでいた家は傾いていたので主人の実家で避難していた。主人の実家は周囲に倒れるものがなく安全と思っていた。しかし、本震後主人の実家も倒壊し、赤札だったので、以降グランメッセの駐車場に避難している。

#### <自宅には目立った損傷はないが、家具などが片付いていないため>

- ・家はまだ片づけていない。

#### <いざというときに逃げるためには車が必要なため>

- ・4/14 コンクリートが盛り上がり「まずは車を出さなければ」と、まず車を出した。

#### <避難所での生活より車中避難の方がよいと思うため>

- ・指定避難所にいたが、車上荒らしが連続したため車中生活を選択した。
- ・犬がいるので、指定避難所には行けなかった。
- ・プライバシーが保たれるため車中生活がいい。天井がないことで不安が少なくなる。
- ・2日間避難所で過ごしたがプライバシーが無い為、避難所を出た為（空き巣対応する為、自分の家を見守る為）
- ・避難所に行きにくい。
- ・仕事が朝早く、夜遅く帰るので、避難所の皆さんに迷惑かけるので、自分だけ車中泊。
- ・1回目の地震の時、近くの小学校に避難したが、そこで2回目の大きな地震にあって大きく揺れ建物の中にいるのが怖くなった。
- ・家の近くの公園（江津）家から近くに居たかった。
- ・15日からずっとグランメッセ。家に入れたい。益城は情報少ない。すぐに動けるように車中の方が良い。情報は、ラジオ、携帯で拾っている。
- ・子供がいるから避難所行けない。
- ・公民館の避難所に避難したが危ないと言われ駐車場のみ許可が出た。避難所への道が通行止めとなり、行き方がわからなかった。
- ・車の中が安全。避難所に行ったが危険で出る必要があった。
- ・指定避難所（ひろやす）がいっぱいだった。
- ・避難所がいっぱいで入れなかった。
- ・避難所はうるさい。落ち着きたい。
- ・ひとまず朝まで車中泊をしている。犬もいてエサやりしている。

- ・家の損傷はない。夫は家で寝ている。いびきがうるさいから。
- ・すぐに逃げられるように。家にすぐ戻れるから。食事の準備をしなければならない。  
(自治会長なので) 地域を把握するため、すぐに動けるように。
- ・車中の方が気楽 (プライバシー)
- ・車の中が安心 (安全)
- ・前震でアパートを出て指定避難所の公民館に徒歩で逃げたが、余震が気になり自宅駐車場で車中生活。そこで本震を受けて車中生活をはじめた。
- ・精神障がいや揺れる建物に入れなくなった。犬も居るから避難所は..
- ・指定避難所には1度行って見たが、年配の人が多く、狭かったため。
- ・小さい子どもとペットがいるため避難所には行きたくなかった。

#### <水やガスなど、生活に必要なものが不便であるため>

- ・停電したため。
- ・水もれの為、結局、室内に戻っても水が使えない。
- ・家が半壊。電気・水道が不通になったため。

#### <ペットがいるため>

- ・ペットがいる
- ・ペットがいるため

#### <その他>

- ・埼玉から移住して仕事を始めるところだった。家は契約する前だった。
- ・広安西小の外でござを敷いて寝る。翌日からグランメッセ。
- ・危ない状況
- ・広安西小 (避難所) の外で車中、翌日からグランメッセ
- ・熊本市のいとこの家に行ったりきたりしている
- ・避難所があつい
- ・仕事なくなった (中断) やることがない。単身生活であり、一人家にいてもさみしいので、車中で転々としている (今週中に移動する予定)
- ・家の駐車場を妹の夫に使わせている (会社の車)
- ・本震の後、近所の方と避難先で落ち合う約束をして、自分の両親の元へ向かい、ピックアップをした後、近所の方と合流して車中生活を始めた。

### 1. (2) 「車中避難の方がよい」理由 (自由記述を分類したもの)

#### <人が多いのが好きでない。気をつかわなくてよい>

- ・一人の方がいい。人が多いところは好きではない。
- ・車中では人に気をつかわなくてよい。ゼンソク。
- ・ゆっくり寝れる。
- ・避難所の人が多く、気をつかう。夜寝られない。(いびきなどで) 車の方が精神的に

落ち着く。

- ・仕事の関係で朝早く出るので皆に迷惑かける。
- ・小さい子（孫）がいた。子どもがいると気を遣う。いびきや人の目が気になる。車の方が安心。
- ・大勢の人がいるのは嫌。落ち着かない。車の中は気を使わなくて良い。
- ・子どもが小さいので周りに気をつかう。
- ・障害者の息子が居るのでテントや車中の方が安心できる。
- ・子供がいて周りに気を使う。
- ・人がいると疲れが取れない。
- ・人がいっぱい気を使う。
- ・うるさい。
- ・静かがいい。
- ・父母が高齢であり、周りの人に気を使ってしまうので車中泊を選んだ。
- ・人が多くて気をつかう。
- ・犬・お子さんが障がいがあり、周りの人に気を使うので....。
- ・人に気をつかわなくてよい。
- ・他人への気遣いが不安。
- ・気を使わなくていいから。テントがあって生活できる。
- ・子どもやペットが迷惑をかけるから。
- ・おちつかない。
- ・祖母の足が遅い。
- ・人が多すぎるから。

#### <ペット>

- ・ペットを飼っている。
- ・犬をつれているので避難所に行けない。
- ・ペットの犬の存在があり車中している。
- ・犬と一緒に居るため。
- ・犬がいるため遠慮。

#### <プライバシー>

- ・プライバシー。
- ・プライバシーが保たれる。
- ・プライバシーが守れる。
- ・プライバシーの点で車中が良い。
- ・プライバシー。
- ・プライバシーを守りたい。
- ・プライバシーが守られる。
- ・プライバシーの確保。
- ・プライバシーが保たれる。

- ・プライバシーが保たれる。
- ・避難所は窮屈でプライバシーがないと思った。

#### <建物が怖い>

- ・天井が落ちない。
- ・建物は避難所でも地震の時、音がして怖い。
- ・建物は危ないため。
- ・建物危ない。
- ・余震が続き、夜に屋内にいるのが怖いため。
- ・夜間帯の余震が続き、自宅では気持ちが落ち着かないため。
- ・中より車が安全。
- ・建物の中がこわい。すぐに逃げられる。
- ・屋根のあるところへいけなかった。

#### <ゆれを感じにくい>

- ・ゆれを感じにくい。
- ・揺れを感じにくいので。

#### <避難所がいっぱい>

- ・避難所がいっぱいだった。
- ・避難所は一杯だった。
- ・避難所は人がいっぱいなため。
- ・人がいっぱいに入れなかった。(8・水道が×)
- ・いっぱいだった。
- ・中も駐車場も混雑しているため。
- ・最初はひろやす小学校に行ったが人が多かった。
- ・避難したグラメッセが閉鎖された。他に移動しても入れるか不安。

#### <感染症が心配>

- ・感染症など心配。赤ちゃんがいるので。
- ・子どももいるし、ノロウイルスなど感染症がこわい。

#### <自宅が近い、自宅が心配>

- ・近所の方とのもともとのコミュニティの良さがあるので。
- ・鍵をかけても窓が壊れているため、自宅が心配なため。
- ・自宅から近かったから。
- ・自宅が近かったため。
- ・家にすぐに戻れるから。車中であれば、すぐに地域のために動けるから。
- ・マンションの管理組合の理事で業者の立ち合い等の対応があるためすぐにマンションに行ける場所にいたかったため。

### <自由、すぐ動ける>

- ・消防署の隣の救急車を態々呼ばなくても公園なので子供も遊ぶ場が有る。皆伸び伸びと仲良く遊んでいる。
- ・自由がある。
- ・両親が近くに住んでおり、お互いの家を行き来できる近くの場所（車中）がよいと思った。
- ・自分たちのスペースが自由にできるから。
- ・避難所に門限（23:00）あり閉まるから。
- ・すぐ逃げられる。
- ・動きやすくしたい。
- ・通勤に便利なため。

### <その他>

- ・家の荷物が多し。車を倉庫として使用している。

#### 1.（2）「その他」の内訳（自由記述）

- ・子どもが家に居るのを恐がったため、車の方が安心だった。
- ・天井があるところは、落ちてきそうで不安だった。
- ・避難所（福祉センター）が使えなくなった。
- ・子どもを連れての避難は大変。
- ・子供が怖がる。
- ・子ども2人が車中泊なので本人や夫も車で寝たりしている（避難所と車で寝ている）。
- ・夜は寝てしまうから。
- ・単純に自宅のそばにいたい。
- ・車中は揺れが少ない。
- ・母が不安を抱えている為。
- ・空き巣が心配。近所の人と連携できるため。
- ・犬が落ち着かない。
- ・避難所がいっぱいだった。
- ・自宅周辺の道路が機能しておらず、通勤しやすい場所での車中泊を選択。
- ・子どもが建物に入れない。犬もいる。
- ・エミナースの規則で入れる人が決められていては入れない。（60才以上、3才未満の人と母親）
- ・エミナースの規則で中に入れない。

1. (3) 今挙げた中で最も大きなもの（事情）はどれでしょうか。

車中避難を始めた事情(最も大きなもの)	人数	%
再び大きな地震があるのではないかと不安なため	41	31.3%
余震が続いていて、自宅で寝るのが不安なため	35	26.7%
自宅に大きな損傷があり、住める状態ではないため	35	26.7%
自宅には目立った損傷はないが、家具などが片付いていないため	2	1.5%
いざというときに逃げるためには車が必要なため	1	0.8%
避難所での生活より車中避難の方がよいと思うため	7	5.3%
その他	8	6.1%
1つには決められない	2	1.5%
合計	131	100.0%

1. (4) ずっとここ（この公園等）で車中避難されておられるのですか。それとも、何度か場所（公園等）を変えられましたか。

項目	人数	%
最初からずっとここで車中避難をしている	75	57.3%
最初は別のところで車中避難をしていた	56	42.7%
合計	131	100.0%

(2の方へ) 何回くらい移動されましたか

回数	人数	% (全回答者を分母)	% (移動経験者を分母)
0回(ずっとここ)	75	57.3%	-
1回	19	14.5%	33.9%
2回	17	13.0%	30.4%
3回	8	6.1%	14.3%
4回	3	2.3%	5.4%
5回	3	2.3%	5.4%
6回	0	0.0%	0.0%
7回	1	0.8%	1.8%
8回	1	0.8%	1.8%
9回	0	0.0%	0.0%
10回	1	0.8%	1.8%
不明・無回答	3	2.3%	5.4%
合計	131	100.0%	-

1. (5) この場所（公園等）を選ばれたのは、どのような理由からでしょうか。

【自由記述】

車中避難場所	この場所を選んだ理由（自由記述）
動植物園駐車場	みんないる。安全だから。近所なので家が見える。周辺の情報もわかる。
動植物園駐車場	家が近い。ただ、ここは車が少ないので、寝るときは、（普段、買い物に行っていた）近くのスーパーの駐車場に行き寝ている。
マルミツ東バイパス店駐車場	家のすぐそばで、家が見える。近くて家に入れる。水も出るようになったので。
マルミツ東バイパス店駐車場	家の近く。
マルミツ東バイパス店駐車場	家の近くだから皆がいて安心。
西原中学校	家から近かったから。
マルミツ東バイパス店駐車場	家から近い。
マルミツ東バイパス店駐車場	家から近く、広い駐車場だったから。
マルミツ東バイパス店駐車場	家の前だから。
錦ヶ丘（マンション駐車場）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園での避難にくらべて自宅マンション駐車場にいてことで自宅の物資とトイレを利用できるので選んだ。</li> <li>・地域の人々とのもとのつながりも心強かった。</li> </ul>
錦ヶ丘（マンション駐車場）	公園よりも、自宅マンション駐車場の方が、地域の人々とのつながりもあり、一時的に自宅に帰れることでトイレ・食料の問題に対応しやすいから。生活パターンを大きく変えずにすむから。
マルミツ東バイパス店駐車場	知人が多く車中生活をしており、自宅が見えるところで安心できるから。
マルミツ東バイパス店駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅マンションが見える場所であり、昼間は部屋の片付け等をしながら必要な物を自宅から持ち出せるため。マンションの人々とのコミュニティがすでに存在していて同じ様に車中生活をしているため。</li> </ul>
錦ヶ丘公園	自衛隊の存在により、治安と食品、フロの提供があり安心できるため。
錦ヶ丘公園	家から近い。
錦ヶ丘公園	トイレや朝夕のおにぎりの配布があり、建物が周辺に無いため

		安心感がある。
錦ヶ丘公園		この公園ではトイレが使えると聞いた。
錦ヶ丘		・自宅に近い場所で他の場所のように立ち退きをせまられすこともないので選んだ。 ・他に車中生活者が多くて安心だった。
綿ヶ岡公園		少し出ている間に工事車両と事務所が建っていたから、場所を変えないといけなくなった。友人に教えられ、この公園に来た。自衛隊がいて安心。
錦ヶ丘公園		自宅から近い。熊工に避難していたが学校が始まるので閉まることになり避難所をでた。
出水町のゆめタウン はません店の駐車場		家が近い。
マルミツ東バイパス 店駐車場		倒れるものがないから。最初の4日間はここ、その後自宅に戻り、4/28（本日）またここで車中泊。
マルミツ東バイパス 店駐車場		自宅の近く。
サンロードシティ （東区）駐車場		署の近くだった。土地勘がある。
サンロードシティ （東区）駐車場		家から近い（近くの県営住宅一家の行き来が簡単） スーパー（MaxValue）などお店があった。同じモール内の店に子どもがつとめていた。
サンロードシティ （東区）P		家から近い（県営住宅）。小学校からも近い。
御船町恐竜公園		トイレがあり便利そうだった。水もはじめはでていた。
七滝中央小前駐車場		そこ（七滝中央小避難所）に行ってくださいと言われた。
御船町スポーツセンター		水がある。コンビニ近い。ガソリンスタンドも近くにある。避難所の隣なので便利。
御船中学校 P		この周りは被害が少なかったので、御船スポーツセンター（避難所）が近いので物資も充実していると思って。
御船町恐竜公園		消防署の隣の命のライフラインがある。救急車を態々呼ぶまでもない。公園なので子供も遊べる。皆伸び伸び遊んでいる。家の前のテントでは物資が届き難いが、此処には支援物資が届き易い。（支援物資保管スペースと山口県職員が居た）
江津の自宅前		自宅に近い。（自宅前）公園→家のP。
御船町恐竜公園		1 避難施設らしい点。 2 離れても知り合いと居たい。 3 物資は全て 傍に有る店舗。 場所の移動経緯：保育園の避難所に3日→現在地のトイレの近くの公園→現在。



御船町恐竜公園	テントが利用できる事で眠れる様に成った。 子供の遊び場が有り。トイレも利用できる事が大きかった。 最初の数日間はアルソックの警備員が居て治安も良いと感じた。
御船町恐竜公園	トイレや水が充実しており。子供の遊び場が有る為。リラックス出来る。
御船町恐竜公園	トイレの水が使用出来て食料の配布がスムーズなので選んだ 治安が良く人が多いのも良い。
御船町恐竜公園	トイレ・水道が有り。明るく多くの生活者が居て安心している。 歩道が充実して雨でも足元がしっかりしているから良い。
御船町恐竜公園	トイレが有り。多数の避難者が居るので治安的に安心。友人も居るのでここにした。
御船町高木（自宅前）	本震以降は天井の無い所での安心感が無いと生活しづらくなった。 近所のコミュニティが存在し。共同でテントを張る等して生活が成り立っており安心出来る為。
グランメッセ	いろいろと回っているところのひとつ。ひろくてプライバシーが保たれる。
グランメッセ	炊き出しをやっているから、広いから。
グランメッセ	家からも近く、支援もあるため。
グランメッセ	家のそばで数軒が固まっているため。井戸水が使えるため。
グランメッセ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊が目の前にいる。</li> <li>・24時間体制で人がいること。</li> <li>・街灯があって明るい。</li> <li>・女性一人で安心していられること。</li> </ul>
グランメッセ	家から近く、広々しているため。必要な物資が提供されている。
グランメッセ	転々としている。
グランメッセ	家の前やグランメッセなどいろいろと泊まっている。
グランメッセ	避難所はいっぱいだったため、グランメッセなら空いていると聞いた。
グランメッセ	家が近い。駐車場があいている。
出水南公園	実家、自宅が近い。知っている親しい人たちが一緒だと心強いと思ったから。安全と思ったから。
出水南公園	自宅近く 800戸の団地 約 50 台。
出水南公園	避難場所は家から遠い。家の様子がいつでも見れるようにこの場所を選んだ。
出水南公園	自宅の目の前にあり広々としている為、近隣の方々も一緒に安心感もある為。
出水南公園	自宅から一番近かったから。

	出水南公園	住まいに近く公園があるし、車を持ち込めるから。
	出水南公園	一番近く安全で考えた。
	出水南公園	近所の人に誘われた為。
	北区新地公園	自宅が近い。
	北区新地公園	近所だから。
	北区新地公園	自宅から近く安全と感じたから。
	北区新地公園	家からすぐ近くなので昼間は自宅に帰ったりできるから。
	香の森公園	静か、キレイ。
	香の森公園	公式の避難場所だから。人と居ると安心するから。(最初の場所は人がいなかった。2~3日で移動)
	出水中学校	避難所だから。家の近くだから。
	出水中学校	近いから 一車で1分。
	出水中学校	歩いて3分と近いから。
	グランメッセ	たまたま、偶然。
	グランメッセ	消防団からの指示を受けた。
	グランメッセ	エコノミー検査に来た。(医療班がテントやブースに居る)
	グランメッセ	広いから・その後避難所いっぱいに行けなかった。
	グランメッセ	足腰が悪い。移動手段のない母の近くにいた方がよいため。
	大津運動公園駐車場	安全・近い。
	グランメッセ	広いから、上から物が落ちてこない。
	グランメッセ	LINEグループで知って知り合い3世帯と寄り合った。小学校(避難所)には、車がいっぱいでは入れないし、体育館の中には入りたくなかった。
	グランメッセ	避難所(小学校)に入られない。ここは駐車場が広いから。人が大勢いるので安心。
	グランメッセ	グランメッセは敷地が広い。安全。地域ではここが広いという認識が定着。
	グランメッセ	自宅の片付け等があるため。
	グランメッセ	近いから。(益城広崎)
	グランメッセ	避難所(小学校)に入られない。ここは駐車場が広い。人が大勢いるので安心。
	グランメッセ	小学校がいられない、駐車場が広い、ここが安全。
	グランメッセ	家族(両親)の側にいたいから。
	グランメッセ	近い。駐車場が広く、複数台止められる。近くに住宅なく安全。
	グランメッセ	近い。 駐車場が広い。 近くに建物がなく、安全のため。
	グランメッセ	他の避難所がいっぱい。隣の家の方がここにきていて、それを

		知ったため。
	グランメッセ	広いから。
	グランメッセ	消防団からの指示をうけた。「はじめは建物の中で生活できる」と思った。いざ来たら車中避難だった。
	グランメッセ	みんな一気に避難した。車が殺到し移動できない状況だった。グランメッセを移動したら、次どこに入れるかわからなかった。
	グランメッセ	広い。 自宅付近の道路は瓦礫が散乱していて車が通れない。家の駐車場出られない。家族。
	グランメッセ	車が入らなかったなので、すぐグランメッセに来た。 自宅から近かった。
	グランメッセ	広いから。
	グランメッセ	近隣の知り合いに「ここならトイレがあるし、良いよ」と情報を得て、家族の中で一晩検討した後にきた。
	グランメッセ	親戚の呼びかけがあった。
	グランメッセ	建物や電線など倒れてくる物がない。ひらけている。プライバシーが守られる。
	グランメッセ	1番広い。建物がない敷地だから。親戚の方が先にグランメッセに来ていた。「ここが良い」と連絡を受けたため。
	グランメッセ	避難したグラメッセが閉鎖された。他に移動しても入れるか不安。
	グランメッセ	広い。
	グランメッセ	敷地が広い。指定避難所はどこも混雑していて車がとめられない。物資確保、充実している人との交流ができる。(子供ものびのびできるようだ)
	井手の口公園	マンションから近く生活圏も変わらない。自宅の様子も見に行きやすく、マンションの管理組合の理事をしており修理などの業者の立ち合いも行きやすい。住民宅(高齢)へのボランティアが入る際も確認をしてあげている。
	井出の口公園	自宅から近い。
	総合運動公園 B 駐車場北側	安心。トイレも充実。
	水前寺江津湖公園	近かった。
	よこばたけ公園	指定避難所に近いから。なぜか、物資は届かず、小学校に行き行った。
	桜木小学校	家から近い。家から近く、生活物資を家からもち出せるから。
	ハローデイさくらの森店	スーパーの警備の見回りがあり、治安的に安心だった。以前にいた所は車の出入りが多くうるさく感じていたので、静かでプ

		ライバシーが保たれるのがいい。
	ハローデイさくらの森店	静かで明るく治安が良さそうだが、同じ場所にはいたくないので、転々としている。
	アタックス駐車場	家から近く、近所の人々とのつながりがそのまま生かして、自宅から生活用品を持ち出せる面でも良かった。
	水前寺江津湖公園	この公園しか知らなかった。自治体からの情報や誘導がなかった。
	水前寺江津湖公園	家がすぐ近くで、周りに建物がないので安心。
	水前寺江津湖公園	散歩できる。
	水前寺江津湖公園	広い。住宅地ではエンジンがかけられない。
	水前寺江津湖公園	・実家の近く・地元の友達が（広木公園の）情報をくれた。・母親は県外に住む兄弟のところへ避難中。
	サンロードシティ	家から近いことと、単身生活であり夜1人で家にいるよりは身近な店の駐車場にいる方が、気持ちが落ち着くため。
	サンロードシティ	敷地内にマックスバリュがあり、食糧の買い物に困らないのと、ゲオなど含め遅い時間まで営業している。明るいから安心できる。安全だと思う。
	エミナース	行くところはここしかない。部落の人がみんなここにいる。
	エミナース	消防団の本部がエミナースに移ってきたから。（自分も団員）消防団員間で物資や情報の共有ができてよい。
	エミナース	地域の人々といっしょにられるから。
	エミナース	テントがあったのでここしか選択肢がなかったがやっていける。
	グランメッセ	広いから安心する。
	グランメッセ	自宅前の駐車場にいる。家からあまり離れたくなかった。
	グランメッセ	先に避難していた息子から誘われた。
	グランメッセ	娘が先に来ていたため。広がったから。
	グランメッセ	近くだったから。
	グランメッセ	最初は近くの公園だったが夜になると不安になるので広いところに来た。
	グランメッセ	近かったこと。車中避難者が多かったこと。

グランメッセ	<p>家が住める状態ではないが、子供が小学生で近場の東区などに引っ越した場合、転校しなければならない。そのため、子供が友達などと離れてしまい寂しがるだろうから。また、保育園の子供は一年待って昨日保育園の認可が降りたが、市町村を変わって引っ越した場合、また待機児童になる。</p> <p>元のように子育てが出来るなら益城に残りたいが、分からないのでスーパーなども近くにあって便利で益城の子育てサービスなどが受けられるここに残っている。</p> <p>グランメッセ内は天井が打ち込んでおり、トイレやガラスが割れて中に入れない。</p> <p>避難所は満員なので入れないので、子供たちや足が悪い父や母を避難所に泊め、主人と交代で車中泊と子供の付き添いを兼ね避難所で泊まることもある。</p> <p>避難所の学校は避難所としての機能が縮小しているが、出なくてもいいというが、学校が始まったら出ないといけない。</p> <p>住んでいた家の周囲は家がまともでも地面が沈んでいたり、余震の影響がすごい状況。</p>
--------	---

2. 次に、現在のことをお尋ねします。今、車中避難生活をする上で困っておられることは、どのようなことでしょうか。

項目	人数	%
水（飲料水）	39	29.8%
トイレ	65	49.6%
お風呂	57	43.5%
衣類	19	14.5%
健康	53	40.5%
必要な情報が届かないこと	30	22.9%
相談先がないこと	20	15.3%
話す人などがおらず孤独なこと	6	4.6%
介護	12	9.2%
育児	12	9.2%
通勤	8	6.1%
生活費	22	16.8%
将来の生活が不安なこと	37	28.2%
その他	41	31.3%

## 2. 車中避難をする上で困っていること（自由記述を分類したもの）

### <衛生・健康に関わること>

#### ①トイレ。

- ・トイレ。
- ・トイレが不便だ。
- ・夜だけなのでほとんどないが、トイレがとおいこと。（特に雨の日）
- ・トイレ→自衛隊の方が設置してくれた。
- ・トイレ。
- ・トイレは夜こわい。
- ・水洗トイレがない。
- ・トイレが使えない。
- ・トイレなどの衛生面。
- ・夜、一人で仮設トイレまで行くのは嫌。（衛生状態、和式は嫌）
- ・トイレは最初大変だったが、我慢できるようになった。
- ・トイレが1ヶ所しかない。遠くて不便。
- ・雨の日。トイレなど全て一回外に出ないといけない。
- ・最初のトイレの水がなくて困っていたが、2～3日後に公園の水が使えるようになったので今は困っていない。
- ・トイレの不便さを感じている以外はなんとかなっている。
- ・トイレの水が不安定。
- ・今は何もないが、最初は水道が止まってトイレが使えなかった。
- ・トイレの数が少なくて不安。
- ・体が不自由なのでトイレまで行くのが大変。
- ・仮設のトイレが遠いので子供のトイレは車で行っている。
- ・子どものトイレ。
- ・公園の夜のトイレ。個室に出来ない。コンビニでトイレ済ませて車に戻る。
- ・とりあえずはトイレ。
- ・水とトイレがあれば大丈夫。だからこの場所にいる。

#### ②お風呂

- ・姉夫婦の家に風呂を借りている。
- ・お風呂に入れない。
- ・お風呂になかなか入りにいけない。（地震後3回しかはっていない）行ってもすごく混んでいるので行かない。
- ・風呂は自宅の風呂を使っているが、夜が怖いので明るうちに入浴する。仕事しているので入浴時間確保するのが不安。
- ・特にないが。お風呂はあまり入っていない。
- ・子どもが建物に入れないので風呂が困る。
- ・お風呂に通うのが大変だ。いつまでこの生活が続くのか心配。

### ③健康

- ・身体的な不安。(エコノミークラス症候群)
- ・腰が痛い。
- ・体や腰が痛くて眠れない。
- ・エコノミークラス症候群が不安だ。
- ・横になって眠れないので腰がいたい。
- ・横になって眠ることができず腰が痛い。
- ・足を伸ばして寝れないため疲れが取れない。
- ・エコノミークラス症候群ソックスで対策むくみ。
- ・ろっ骨がおれており、地震への恐怖が強い。
- ・足のむくみやエコノミークラス症候群の心配が有った。
- ・今でも肩こりや腰痛が有る。
- ・横になれないので腰と肩が痛い。
- ・特に無いが腰の痛みと足の浮腫みも有り。
- ・身体が痛い、足を伸ばせない(軽自動車のため)。肩から背中にかけて痛みあり。
- ・眠れず、お酒と睡眠薬を毎日飲んでる。生理が終わらない。
- ・足が伸ばせない。軽のため。
- ・足を伸ばして休めない。
- ・足が伸ばせない。
- ・車は居づらい。スペースが狭い。身体を伸ばして休めない。
- ・下肢のむくみひどくなった。
- ・足を延ばせない。
- ・足を伸ばせない。
- ・眠れない。
- ・眠れない。身体に負担がかかっている。
- ・車中生活が続き、腰、肩、足のむくみが出ている。
- ・健康については、今は問題を感じないが心配はある。
- ・熟睡できない。体をのばせない。
- ・横になれない。もう14日間くらい車中生活で足もむくんでいる。横になって寝たい。
- ・寝苦しい。
- ・ゆっくり寝られない。(足をのばせない。)
- ・足が延ばせない。暑かったり寒かったり。建物は余震が来ても音がするので不安。車の方が安心感がある。
- ・ゆっくり寝られない、足がのばせない。
- ・眠れない状態が続いていて、少しの余震で目が覚める。
- ・寝るところがせまい。
- ・足を伸ばしたい。
- ・腰が痛い。
- ・家族4人いるので足を伸ばして寝られない。あとは移動して何とかなる。

#### ④水

- ・洗濯。生活用水がない。
- ・手が洗えない。
- ・買い物。(水) →自衛隊の方が設置してくれた。
- ・水がない。喉がかわいても飲むものがない。
- ・生活用水を近くの井戸水にたよっている。
- ・生活用水、飲用水ともに十分でない。

#### ⑤持病がある

- ・持病があるが、益城の病院と連絡がとれない。心臓の持病があるが、薬があと1週間分しかない。自分達が住める場所が本当にあるのか不安。
- ・糖尿病の持病があり食生活の変化が心配、腰や足も悪く、血圧の薬も飲んでおり体調管理が心配。

#### <情報・相談>

- ・地震保険の手続き。保険屋さんに来るように言っているがなかなかこない。保険制度がよくわからない。
- ・地震保険のカバー範囲が少ないので将来に不安を感じる。
- ・役所で手続きに時間がかかる。
- ・行政手続きが進まない。
- ・夜食等が食べたくなった時に物資の窓口が閉まっている。自分達の生活リズムと窓口の時間が合っていない。
- ・この先が見えない。情報がない。黄色を貼られたらどうすればよいのか。(住めるのか、再建すべきか、引っ越しは?など考え中)
- ・食べ物等の情報が入ってこない。
- ・情報がない。
- ・グランメッセの端のほうに車を止めているので情報がなかなか届いてこない。

#### <生活不安>

- ・いろいろなローンの支払い。
- ・将来の見通しが立たず 家をどうするか悩んでいる。
- ・見通しがたっていない。
- ・生活の全般が不安。住居がない状況で、先のことが不安。
- ・身体がだるい。熊本にいていいのか不安。(地震のおそれ)
- ・生活の全般が不安。住居がない状況で先のことが不安。
- ・住居にひびが入っていてリフォームするかどうか金銭面で心配もある。
- ・帰る家がない。家族・ペットと離れ離れの生活。眠れない。
- ・先の住居の見通し、生活再建の方法が見つからない。
- ・家族がばらばら (いとこの家に90代の母とペットをあずけている)
- ・ここで生活する分には、なんとかなっているが、いつまで続けるべきか、この先どうな



るのか、の、不安が大きい娘は精神的にダメージ受け、表情失った。

- ・住む所。早く落ち着きたい。

- ・アパートの利用再開のめどがたたない。住居確保、仕事なくなりそう。生活の拠点に関する悩み。

- ・り災証明も6月以降と言われていて将来が不安。

- ・妻は全く仕事もいけてない。相談する先はないし役場も機能していない。来週から子供の学校も始まるが通学はどうするか。仕事もできていないのに収入はどうなるのか等将来の見通しが立たない不安が大きい。

- ・天気が特に困る。寝る所が困る。屋根がある所があれば車中でなくてもいいのでよいのだが。実家から使用できるものを取り出しても外に出した状態では雨が降ったりすると濡れてしまうので、保管する場所がない。家が欲しい。子供が転校しなくていいなら仮設住宅でもいい。引っ越した先から元々の学校へ越境入学でもいいが、役所がすすめる植木町など遠方の土地からの越境通学なら遠すぎて行けない。不動産屋に近所を紹介してもらっても、大家は身内の入居を優先してしまう。

近くにスーパーがあるので買い物に行け食べるものには困らない。しかし、月半ばの震災なので給料は入ったもののお金がなくて困った。

父母は足が悪いが老人施設に入るような歳でもなく、昨日レスキュー事業で一時預ってもらったことになった。

最初はグランメッセにも自衛隊の支援が来ていたが、今は避難していなく家から物資を取りに来る人もいるので、支援のニーズは変わっている。物資に関していうなら、子供のおむつの種類やサイズの数が少ない。東日本の経験なのかおむつとミルクの物資そのものの到着は早かった。

- ・将来への不安（家）が大きい。健康状態も不安。

- ・この状態をいつまで続けるのか不安になることがある。テントが手に入ったが将来のことを考えると不安になる。

- ・特段困っていることはない。不安な気持ちの整理ができない。

- ・安心がほしい。

- ・生活のすべて。

- ・住まいとしての家が無い事が辛い。

- ・仕事ができない。（地震で仕事がなくなった）

- ・仕事不安定で年金も少ない。

- ・体調の問題と思春期の女の子と3人で生活しているので治安の問題も心配。

- ・女性一人なので不安。

- ・騒音。

- ・車も盗難、車上荒し。

- ・子供がトラウマになっており、夜泣きや夜怖いのを怖がる。カウンセラーを探している。（子供も心のケア）

- ・ペットスペースがない。

- ・ペットの健康。

- ・子供が小さいので家が大丈夫なのかどうか不安。安心してふとんで寝かせてあげたい。

家にもどりたい気持ちが強い。不安。

眠れないが、余震の恐怖感もあり屋根があるところに行けない。

- ・生活物資が届かない。実家からの食料でのりきった。
- ・家族6人で車中生活なのでせまくて困る。
- ・生活・食料品全般にアクセスしづらい。
- ・あたたかい食べ物が欲しい。
- ・小さい子供（赤ちゃん）がいるので、何かあったときのことを考えると動きにくい。
- ・温かいたべもの。炊き出しを行っているが缶詰が多い。なぜ昼にもらえないのか。行って並んでもいきわたらなかった。
- ・子どもの食事 - 偏っている。
- ・子供の食事がかたよっている。
- ・あたたかい食べ物が食べられない。
- ・ワンちゃん健康管理。(18才)
- ・住んでもいいと言われているが、はっきりした答えが出ていない。すぐにでも戻りたい。
- ・ガスも通るようになった。はっきりした答えがほしい。
- ・2週間経っているので特に無し 最初の頃はガソリンが足りなかった。
- ・特に無い 寝るまでは家で生活している。
- ・一人だけど特に無い。朝は6時に仕事に行く。昼は見つからない。
- ・障害児の息子のケアと認知症の母の介護があり大変”。
- ・寒さと暑さに対応しなくてはならないのが辛い。余震が続いているので不安で仕方ない。
- ・おちついて過ごせないこと。犬がいる、足がのばせない、周りに人がいるとおちつかない。
- ・特になし。自分達に関しては自ら動けるし、物資もある。
- ・自力でなんとかできている。
- ・安心していられるのが大変。
- ・テントで夜は寝るので快適。
- ・特にない。キャンプに慣れているので、快適に過ごしている。ペーパードライバーなので、原付を買って通勤する。
- ・ペットがいる。
- ・雨の時寒い。
- ・家に帰ると不安。
- ・困っていない。慣れた。昼間は自宅近くに戻っているが、怖くて中に入れない。
- ・雨が降った時の対応、テントを張っていた。食事は自衛隊の炊き出しがある。水はある。

寒いがエアコンをいつもつけっぱなしにはできない。毛布はあった。ガソリンは当初不足していたので節約。

- ・自宅のライフラインが早く復旧してほしい。子どもを転校させたくないがそうせざるをえないかもしれない。

先行きが不透明なので不安。

- ・眠れない。
- ・子ども。好き嫌いやアレルギーあり。虫にもよわい。・発達障がいの子ども。避難所などに行くと、「親の育て方が悪い」と言われているように妄想してしまう。
- ・昨日から外灯が PM10 時に消えて暗くなる。
- ・水は公園から汲んでくるので大丈夫。
- ・生活用水は親類の家で利用しているが、身体に問題を感じていないが、布団でリラックスして眠りたい。子どもが避難所にいるので、別々に暮らすのが心配。
- ・インターネットが使えない。(スマホ使いこなせない)
- ・アパートに寝れないこと。
- ・子どもが最初の頃、精神的に不安定だった。
- ・ガソリン、ケータイの充電。

## 2. 「困っていること」のうち「健康」の内訳。(自由記述)

- ・母の健康/3日一緒に車中泊をしたが、足がむくみ、病院に行ったら血栓ができていた。
- ・エコノミー症候群への不安。
- ・エコノミークラス症候群の心配。
- ・腰が痛い、眠れない。
- ・余震がこわくて眠れない、体がいたい。
- ・身体をのばしてゆっくり寝れない。エコノミークラス SD のことが不安。
- ・腰・肩の痛み、肋骨周辺の痛み。
- ・腰がいたい。
- ・疲労感、倦怠感。
- ・身体中の血流が悪くなったような感じで身体が痛い。
- ・ろっ骨がおれている。足の打撲もある。
- ・子供の PTSD。
- ・足の浮腫み。腰・肩痛。
- ・腰痛。足の浮腫み。
- ・不眠。
- ・長引く車中泊。
- ・子供の健康が心配。
- ・寝れない。
- ・足がのばせない。夜は寒い。寒くて目が覚める。
- ・高血圧。
- ・睡眠不足。
- ・生理がおわらない。眠れない。
- ・ゆっくり寝たい。
- ・身体が痛い。
- ・よく眠れない。
- ・足を伸ばせない。

- ・眠れない。
- ・眠れない。
- ・下肢のむくみ。
- ・子どものあせも。
- ・眠れない。
- ・精神的につらい、身体がだるい。
- ・肌荒れ。
- ・腰が痛い。
- ・腰・肩の痛み・足のむくみ・眠りが浅い。
- ・特に問題はないが、このような生活が続くと心配になる。
- ・体がこわばっている。
- ・足を伸ばして寝られず眠りも浅い。
- ・眠剤を使わないと眠れない。

## 2. 「困っていること」のうち「将来の生活が不安なこと」の内訳（自由記述）

- ・家のこと。
- ・家のこと。家が大丈夫なのかどうか。
- ・次に住むところ。また地震がくることが不安。
- ・マンションにひびが入っている。
- ・建物の見通しが立たないと、どうしていいか分からない。
- ・また大きな震災に一生の中で出会うのではないか心配。
- ・この生活がいつまで続くのかと不安になる。
- ・次に住むところがみつからない。見つからないと荷物も出せない。自分達が住める場所が本当にあるのか不安。
- ・家がつぶれたから。
- ・これから実家をどうするか。診断基準が納得出来ない。
- ・立て直しにはお金がかかる。お金が出たとしても十分ではない。
- ・家を建て直す費用。全壊でも300万と聞いた。避難所の小学校も学校が再開したら出なければいけない。
- ・今後の家の問題をどうするのか？
- ・住宅の今後の目途が立ってない。
- ・保険での一部保証5%では足りない。
- ・余震が怖い。
- ・赤紙を貼られて。今後の資金的な面も含めて不安が有る。
- ・家の再建の先行き。
- ・マンションがなおるかどうか。
- ・住む場所のこと。リフォームするか建てかえるのか、どうしたら良いか。
- ・住む場所がない。リフォームすべきか建て替えるか。

- ・ペット・家族といつ一緒に住めるか。
- ・住宅。
- ・住居。
- ・家屋のたてかえ、水田について5/2説明会がある。ミニトマトハウスがゆがんでいるので栽培できるか不安。
- ・住居、仕事。
- ・家の損害状況が知りたい（修理代）、仕事に行けていない。
- ・住居。仕事。
- ・仕事不安定（定職がない）年金が少ない。（年120万位）
- ・余震が怖い、という気持ちの整理ができていないでいる。
- ・家がない。
- ・収入、子どもの学校への対応。
- ・自宅や仮設住宅のメドが立っていない。
- ・施設に避難している親の介護。
- ・住居の見通しが無い。

## 2. 「困っていること」のうち「その他」の内訳（自由記述）

- ・いつでもゆれている/軽だから狭い/ペット（ネコ）がいるので家の近くから離れられない寝苦しい。
- ・携帯の充電。
- ・子供を連れているので治安の問題。
- ・食べ物。あたたかい食べ物がほしい。炊き出し（自衛隊）を行っているが缶詰が多い。
- ・犬（ペット）の生活環境の心配。
- ・家がない、住む為のお金がない。
- ・ペットのケア。
- ・地震への恐怖。気持ちが落ち着かない。
- ・子どもが不安がっている。住めるのか安全なのかはっきりした答えがほしい。
- ・足がのばせない。
- ・足が伸ばせない。
- ・足がのばせない、ゆっくり寝られない。
- ・家。
- ・犬がいる、足がのばせない、見通しがたっていない。
- ・防犯。
- ・ペットがいる。
- ・改修費用がいくらかかるか。
- ・天気に左右されること。
- ・スペースが狭い。
- ・子どもの通学。
- ・家族ペットと離ればなれ。

- ・姿勢が楽になれない。
- ・農業（仕事）ができない。田んぼ、畑が地割れ。水がたまらず、今年は米が作れない。
- ・騒音、車上荒しが心配。
- ・いつまで公園にいれるのか、子どもの学校が始まったらどうしようか。
- ・今はない、本日で車中泊終了。
- ・真っ暗になる。（夜 10 時以降）
- ・家の構造的に不安。
- ・子どもとの生活。
- ・家は雨風がしのげるが、使える状態ではない。被災者という訳ではないからとにかく家が住めるようになってほしい。
- ・ガソリン代がかかる。
- ・洗濯ができない。
- ・子どもの学校の開始への対応。（通学、学校のない時間をどうするか）
- ・子どもの食事、バランス。

## 2.（2）今挙げた中で最も大きなもの（事情）はどれでしょうか。

項目	度数	%
水(飲料水)	5	3.1
トイレ	20	15.3
お風呂	12	9.2
健康	20	16.0
必要な情報が届かないこと	10	7.6
相談先がないこと	1	.8
話す人などがおらず孤独なこと	1	.8
育児	3	2.3
生活費	4	3.1
将来の生活が不安なこと	25	19.1
その他	17	13.0
1つには決められない	1	.8
不明・無回答	12	9.2
合計	131	100.0

### 3. 車中避難をしなくてもすむようになるためには何が必要でしょうか。

項目	人数	%
自宅の改修・耐震工事	51	38.9%
自宅の片付け	34	26.0%
公営住宅や仮設住宅などへの入居	42	32.1%
精神的な不安の解消	56	42.7%
いつでも相談できる相談先	11	8.4%
水、ガス、電気など生活に必要なもの(ライフライン)の復旧	28	21.4%
その他	47	35.9%

### 3. 車中避難をしなくてもすむようになるために要なもの「その他」の内訳。

項目	人数	%
その他 余震が収まること	21	16.0%
その他 自宅の診断・安心の確保	10	7.6%
その他 安心できる建物・避難所	5	3.8%
その他 お金	8	6.1%
その他 ペットとの生活ができること	2	1.5%
その他 県外移住	1	0.8%
その他	4	3.1%

### 3. 車中避難をしなくてもすむようになるために要なもの。(自由記述を分類したもの)

#### <余震が収まったら>

- ・地震がこなくなること。
- ・余震がなくなれば帰りたい。
- ・余震が減ってしまうまでは帰りたくない。(昨日からもどられた)
- ・家を探しても地震がおさまるまでは意味がない気がする。
- ・余震があつて不安が大きく帰れない。
- ・余震がおさまる。
- ・地震の沈静化。

- ・地震が無い安心感。
- ・余震がおさまること。
- ・余震がおさまって早く「大丈夫」という情報がもらえたら。ラジオで情報をメモしている。「6弱が来る」とか言っている。
- ・余震がなくなること。しかし、それは無理。今は困っていない。
- ・余震が無くなれば良い。
- ・余震が無くなれば帰りたいが 一日一日と延ばしている気がする。
- ・5日以上 余震を感じない日が続けば帰りたい。
- ・余震が無くなれば帰れる。
- ・余震が落ち着くこと。
- ・余震がどうか？
- ・余震がおさまり、この地震の終わりが宣言されること。
- ・余震が終わること。(終了宣言などが欲しい)
- ・余震がなくなれば、次大きいのがきたら不安な為。
- ・余震が怖い。2回の地震で家にガタがきている。余震が終わるメドが分かればいいのに。
- ・余震がなくなれば。(あと10日ぐらいは)
- ・地震がおさまり不安が解消されること。
- ・余震で安心して家で過ごせない。
- ・余震がなくなること。
- ・余震のおさまり。
- ・余震が収まること。
- ・地震が止めば良いが、それは無理。

#### <自宅が安全と確信できること>

- ・家が大型車が通るとゆれるので倒壊が心配。家が安全で水、トイレ、お風呂がOKだと。
- ・家が、安全であることが確信できること。大家さんも「安全だ」とは言われない。家で生活して、おしつぶされても、自己責任と言われる。
- ・何がだめで黄色なのか分からない。危険性などの説明が欲しい。家の中の片付けなどは済んでいる。
- ・天井が崩れないことが判ったら。
- ・住んでいるマンションに安全かどうかの判定を受けたい。それにより今後の選択が決まる。
- ・住宅の診断がきちんとされたら帰りたい。
- ・住居が安全だということがわかれば帰れる。
- ・建物が安心して住めるようになること。
- ・余震で倒壊の心配がなくなること。
- ・建物への安心感。
- ・そもそも建物の調査の人がきていない。早くきてほしい。調査に来る家と来ていない家



がある。どういう優先順位でやっているかがわからない。

- ・部屋が安心して住めること、外壁は大家さん、内装は個人なのか？
- ・”外観の調査のみで、地盤や家の中の調査はないため不安。落ち着くまで帰れない。
- ・家の安全性、外壁が割れている。
- ・判定を少しでも早くしてほしい。それを受けて今後を決めたい。
- ・安心、早く判定してほしい。
- ・専門家からの「もう大丈夫。家は問題ありません。」という絶対的安心、確証が必要。

#### <自宅の修理・立て替え>

- ・安全な家が必要 建て替えるか？修理するか？選択で悩んでいる。
- ・自宅の再建。
- ・り災認定後に、家の再建を早急にしたい。
- ・住むところ。新聞に「写真をとって役所で手続きとあったが、役所に Tel つながらない。役所に行ったら「写真は必要ない。こちらで調べる」と言っていた。
- ・天井が落ちそうで不安だからそれがなんとかなってから・・・。（余震がおさまり、工事が入ってからということか？）”
- ・お金、修理、住み替えの費用。
- ・家の建て直し。
- ・家の建て直し。
- ・借家なので大家さんに早く修理してほしい。
- ・自宅の修理。
- ・家自体は大丈夫だったが中の崩れた壁や家具などを片付けないと家に入れない。
- ・ご自宅の査定が「要注意」。「倒壊の可能性」と言われた。不安。
- ・自宅の査定が要注意（倒壊の恐れあり）のため不安。
- ・自宅の改修。子どもたちが危険でないような屋根修理。
- ・家の工事と余震が収まること。
- ・家の修理が終わってから。
- ・（個人的意見としては）実家は寝れる状態ではない。罹災証明をとにかく早く。しかし、他にも大変な人もいるのでとにかく車がある自分たちは自力でどうにかしたい。
- ・土地があれば家を建てる。

#### <安全な住むところがあれば>

- ・安全な建物があれば。県外移住。
- ・安心できる家。
- ・物理的な面や治安の面で安全な状態の確保。
- ・寝るところの確保。
- ・公営住宅や仮設や、アパートなど住む場所をつくる。ただ、いつになるかわからない。また、自分達が優先されるかどうかもわからない。
- ・家。（損傷が大きい）。住める場所が必要。
- ・仮設住宅やみなし仮設。

- ・早く家族全員で入れる住宅が近くにできること。
- ・安心して住める所が必要。仮設住宅。借り上げ仮設等に入れてもらえれば。
- ・やはり住まいが出来る事。
- ・仮設住宅に入りたい。
- ・仮設住宅。
- ・住居の確保。
- ・仮設かみなし仮設が決まること。
- ・住むところが欲しい。ゆっくり寝るところが欲しい。
- ・倒れる心配がない建物。
- ・家。
- ・仮設でいいので住むところ。
- ・住居の確保。
- ・住む所。
- ・仮設住宅を準備。
- ・住まいの確保。
- ・家もしくは仮設住宅等の確保。
- ・住むところがあること。
- ・新しい住居。
- ・仮設住宅の整備。
- ・余震はあるが仮設住宅があれば入りたい。
- ・新しい住居と生活をやりなおすのに必要なお金。
- ・バーベキュー用のテントでもいいので屋根が欲しい。晴れた日でないと活動できないので。家が欲しい。子供が転校しなくていいなら仮設住宅でもいい。引っ越した先から元々の学校へ越境入学でもいいが、役所がすすめる植木町など遠方の土地からの越境通学なら遠すぎて行けない。不動産屋に近所を紹介してもらっても、大家は身内の入居を優先してしまう。
- ・避難所の改善。
- ・家とお金。

#### <水道の確保>

- ・水が通るようになれば。(断水中)
- ・水道。(上下水道)
- ・自宅に水道が再開。
- ・飲料水と住居。
- ・飲料水。
- ・水道が(上下水道とも)通れば。
- ・マンションの設備。(エレベーター、水道が復旧すること)

#### <道路整備>

- ・道路整備。

- ・余震がなくなれば、子供も家に帰れるし、道路の問題も解決すれば家に帰ろうと思う。

#### <仕事>

- ・自営（農業）できる体制の確保。
- ・住居と仕事。

#### <精神的な面>

- ・心のケア。子供の精神的なケア。屋根がある所を怖がる。
- ・心のケア一家に入るのがこわい。
- ・夜に大きな地震を受けたので夜、家で眠るのが怖い。
- ・精神的なケア。建物に入れない。
- ・精神的不安の解消。1人でのいるのは怖い。
- ・恐くて帰れなかったが、帰るしかないと思った。今日から帰ろうと思う。
- ・精神的な問題。

#### <ペットも一緒の家・避難所>

- ・子どもやペットと一緒にでも気がねなく過ごせる避難所。
- ペットと共に暮らせる安全な家が欲しい。

#### <大家さんの判断>

- ・今、自分が住んでいる家に住みたいが大家がどうするか分からない 安全ではない家に住んで良いとは言わないだろう。
- ・自宅アパートが危険ということで大家から出されたが、行き先がない状態が続いている。全半壊であれば仮設 OK だが、一部損壊であれば出なくてはいけない。利用の決心がつかない。
- ・大家さんの了解があれば戻ってもいいが無理だと思う。

#### <その他>

- ・空巣への不安感の解消。
- ・夫の実家に避難することを考えている。
- ・両親の家のメドが立つこと。
- ・生活基盤が戻ること。
- ・生活の安心。
- ・仮設には入れないと思う。（全壊ではないため）
- ・ラジオ、テレビの「今後の余震には気を付けてください」という表現にすごく不安をおられているように感じている。マスコミの発言を改善してほしい。
- ・また「余震がまた来る」など変なデマが流れるので不安。このデマがなくなる限り、益城町内の転居も含めた家には行けない。

3. 車中避難をしなくてすむようになるために必要なこと「その他」の内訳。  
(自由記述)

動植物園駐車場	自宅の診断が不明なので自宅が住めるかどうかの判断が必要。ネコが心配。
マルミツ東バイパス店 駐車場	大家さんに工事についての話も、要求して、ようやく応じてもらった。マンションの側の回答が遅い。
マルミツ東バイパス店 駐車場	なぜ黄色なのか説明。(住宅の安全性への不安の解消)
西原中学校	安全な建物、県外移住。
マルミツ東バイパス店 駐車場	地震がおさまること。
マルミツ東バイパス店 駐車場	利用しやすい避難所。
マルミツ東バイパス店 駐車場	自宅の安全性の判定を受けたい。
錦ヶ丘公園	犬と共に暮らせる環境。
錦ヶ丘	安全性の診断が終わらないと考えられない。
錦ヶ丘公園	上のいずれでもなく、ただただ余震がおさまれば。
不定	お金。
出水町のゆめタウンは ません店の駐車場	地震の沈静化。(おさまること)
サンロードシティ(東 区) 駐車場	自分だけが助かっていいのか。
サンロードシティ(東 区) 駐車場	余震が起きること。余震がなくなれば精神的な不安も解消できる。
サンロードシティ(東 区)P	安全だというはっきりした答え。
御船町スポーツセンタ ー	余震がなくなること。
御船町恐竜公園	銀行などの低利の貸付。
御船町恐竜公園	余震が無くなれば良い。
御船町恐竜公園	生活資金の問題が有る。
御船町恐竜公園	余震が無くなれば帰る。
御船町恐竜公園	余震が無くなれば帰りたい。
御船町高木(自宅前)	今後の見通しがつくまでは安心出来ない。
グランメッセ	両親の家の再建が見通せること。
グランメッセ	早く再建できるように行政には動いてほしい。必要なら自分たちで手配する。
グランメッセ	余震がなくなれば...

香の森公園	余震がおさまること。
香の森公園	余震が終了すること。
出水中学校	余震がなくなれば。
グランメッセ	大家さん次第。
グランメッセ	壁、天井がほしい。
グランメッセ	アパートに入るための1年分の家賃の補助。
グランメッセ	アパートに入れるよう、1年分の家賃の補助。
グランメッセ	屋根の修理、道路整備。
グランメッセ	補助金。
グランメッセ	新しい家を建てる。
井手の口公園	余震がおさまる。
井出の口公園	本日で車中泊終了。
総合運動公園 B 駐車場 北側	余震が収まる。
よこばたけ公園	余震がおさまる。
桜木小学校	余震がなくなれば。
ハローデイさくらの森 店	通勤できる道路の復旧。
アタックス駐車場	余震がなくなる。
水前寺江津湖公園	余震がおさまる。
水前寺江津湖公園	余震がなくなること。
水前寺江津湖公園	余震がおさまること。
エミナース	お金。
エミナース	余震がなくなればいい。

### 3. (2) 今挙げた中で最も大きなもの(事情)はどれでしょうか。

項目	人数	%
自宅の改修・耐震工事	28	21.4%
自宅の片付け	8	6.1%
公営住宅や仮設住宅などへの入居	28	21.4%
精神的な不安の解消	24	18.3%
いつでも相談できる相談先	1	0.8%
水、ガス、電気など生活に必要なもの(ライフライン)の復旧	11	8.4%
その他	26	19.8%
不明・無回答	5	3.8%
合計	131	100.0%

4. 車中避難を始めてから、この場所で行政（市や県の職員）からの説明があったり、この場所に行政が事情を聞きに来たりしたことはありましたか。

項目	人数	%
まったくなかった	103	78.6%
あまりなかった	6	4.6%
少しはあった	15	11.5%
かなり頻繁にあった	5	3.8%
不明・無回答	2	1.5%
合計	131	100.0%

5. 現在（これまで）の避難場所では、周辺の地域の方との接触・関係はありましたか。

項目	人数	%
ない・なかった	51	38.9%
ある・あった	79	60.3%
不明・無回答	1	0.8%
合計	131	100.0%

（「ある・あった」と答えられた方へ）：それはどのようなことでしたか。

動植物園駐車場	おにぎり持ってきた（近所の方→昔からの顔見知り（同じコミュニティの人なので）。他の方へはない。単に寝に来るだけの方（他の地域）にはなかった。/「寝に来る方」と「地域の方」でわかる。
動植物園駐車場	町内の人に、母が水とおかゆをもらった。
マルミツ東バイパス店駐車場	学校に水など物資が届いたのを配ってもらった。近くのオートボックスの方が水などを配ってくれた。
マルミツ東バイパス店駐車場	近くに住んでいる友人の家へ水をもらったりお風呂に入れてもらったりしている。
西原中学校	同じマンションに住んでいた人と、一緒に避難した。支援物資

		をもらうのに並んだ時に、いろいろ話をしたりした。
マルミツ東バイパス 店駐車場		どこからかわからないが水とおにぎりをもらった。
錦ヶ丘（マンション 駐車場）		マンションのとなりの方と一緒に物資情報をわかちあって生活している。
錦ヶ丘（マンション 駐車場）		・マンションのとなりの部屋の方と一緒に避難して情報、物資をシェアしながら生活している。（マンション住人以外の避難者はいたが、交流はしなかった。）
マルミツ東バイパス 店駐車場		食べ物の交換、自宅マンション以外の人々との交流もある。
マルミツ東バイパス 店駐車場		・マンションの住人や他所からの避難者との物資の共有等の助け合いが見られる。
錦ヶ丘公園		ボランティアで掃除に参加して知り合った方と交流が生まれ、食品のさし入れを受けた。
錦ヶ丘公園		
錦ヶ丘公園		物資の共有と毎日の声掛けを行っている。
錦ヶ丘公園		近所で炊き出しがあった。1回目はカレー、2回目は豚汁とおにぎり、1回目と2回目は別の人たち。
不定		水、食料等の気配りをしてもらったりしたので自分も出かける時は声をかけて関係がとれていた。
マルミツ東バイパス 店駐車場		物を分け与えあう。情報を共有しあう。
サンロードシティ （東区）駐車場		元々の地域での関係がある人々との交流があった。声掛け、物資を運んだ（車があるので）。ネットでの情報の共有。
サンロードシティ （東区）駐車場		モール内の明屋書店の方にたいへんお世話になった。最初は近くの警察のトイレを借りていたがトイレを借りたり1~2日目にはお菓子を配ってくれたり、本当によくしていただいた。トイレ掃除もきちんとしてくれていた。
サンロードシティ （東区）P		同じ地域の人たち。子供と妻が避難所で寝ている。同じ自治会の人とも声をかけあっている。
七滝中央小前駐車場		そこにいる方は避難している人もしていない人も皆、地元の方で、話したりしている。
御船町スポーツセンター		地域の友達が水を持ってきてくれた。
江津の自宅前		おにぎりを貰った 消防団隊員である。
御船町恐竜公園		4の1への回答若い職員がパニックっているのではない。
御船町恐竜公園		情報や食物の支援を受けた。
御船町恐竜公園		物資 情報 炊き出し 等の情報共有や声掛けをしている。

御船町恐竜公園	避難者同士の情報や物資の交換を行っている。
御船町高木（自宅前）	元々有った 地元の相互扶助が深まった気がする。家族同士の見守り。食事や水や情報のシェアが出来ている。
グランメッセ	妹夫婦と一緒に計3人、3台で避難している。
グランメッセ	近所の人と一緒に車中泊して警備もしている。
グランメッセ	近所の方とは自宅近くで良くあう。
出水南公園	みんなで協力し助け合うことが出来た。（水・トイレ・食料など）
出水南公園	何日まで車中避難が続くかなど、話し合い。
出水南公園	同じ町内の人たちが多かったから。
出水南公園	日常の挨拶、健康状態の会話。
出水南公園	一人であるよりは多くの人といたら、いろいろな面で心強かった。
北区新地公園	食べ物のゆずりあい。
北区新地公園	息子のPTAつながり。
北区新地公園	公民館を開放してくださり、お互いに協力し合いながら不安を解消することができました。
北区新地公園	近所の方から食料の支援。
香の森公園	隣のテントの子供がチョコレートをくれたりする。隣は22時以降しか来ないが、なるべく関係を作ろうとしている。
香の森公園	近所の人と一緒に過ごした。（一回目の避難場所・家のすぐ近く）
出水中学校	ご近所が多く、情報交換をしている。
出水中学校	ボランティアの統率が取れていないため、2日目にボランティアともめた。
出水中学校	あいさつ。
グランメッセ	友人同士で声をかけあっていた。
グランメッセ	あいさつされた。
大津運動公園駐車場	近所と話す。
グランメッセ	近隣の親子が遊びに来て一緒に遊ぶ。他のところでもらったものを持ってきた。
グランメッセ	自宅前のため、近所の人との会話はある。
グランメッセ	仕事の人との接触はあった、支援もあり。
グランメッセ	自宅の近くに保育園があり、そこが避難所になっていた。そこで住民主体で炊き出しが行われた。近くの住民の友人のついで物資を分けてもらった。
グランメッセ	顔なじみの人数名。電話で連絡とりあったあと互いに安否を確認した。
グランメッセ	あいさつ。



グランメッセ	知っている人と会話。
グランメッセ	近くにいる同級生。
グランメッセ	友人・知人・親戚。
グランメッセ	会話があった。
グランメッセ	知り合いと会話。
グランメッセ	物資配布の遠慮したりそこを互いに助言しあっている。食べ物などその日その日の事をしっかりさせたほうがいいよと助言した。炊き出しがあるかないかの情報交換。
井手の口公園	近所の人が食事を届けてくれる。
井出の口公園	町内の顔見知り。
水前寺江津湖公園	声かけ合っている。
よこばたけ公園	物資を届ける。集まって食事。
桜木小学校	声かけ、会話、情報交換。
アタックス駐車場	物資の情報のシェアと声かけ。
水前寺江津湖公園	食糧の分け合い。
水前寺江津湖公園	近くの保育園が最初開放されてたので行っていた。
水前寺江津湖公園	友人からの場所の情報提供と、周辺の方とのあいさつなど。
サンロードシティ	「福岡県からボランティア来てるよ。」と近所のカップルが教えてくれた。
サンロードシティ	集会場のことなどで自治会の人教えてくれた。
エミナース	区長さんが物資や水の支給を担当している。
グランメッセ	子どものママ友どうして物資や情報の共有をしていた。
グランメッセ	最初に避難していた息子から物資情報、自治会長からの声かけ。
グランメッセ	地区の近所の人達に物資などの情報を教えてもらった。
グランメッセ	主人の高校の同級生と偶然会い話し相手になった。

6. 次に、今後のことについてお尋ねします。これから先の生活の見通し（ご自宅にもどっての生活の見通し）はたっておられますでしょうか。

項目	人数	%
まったく見えていない（全く見通しが立っていない）	45	34.4%
あまり先が見えていない（あまりたっていない）	34	26.0%
少し先が見えてきた（すこしたってきた）	34	26.0%
かなり先が見えてきた	15	11.5%
不明・無回答	3	2.3%
合計	131	100.0%

## 7. 市・県・国など、行政に対して何か要望（こういったことをして欲しいということ）」がありますか。

### <情報の提供や説明、情報の収集に関すること>

- ・情報が入らないのは困る。統一した情報があればよい。情報を統一して流すようなきまりをきちんとつくっておかないといけない。新聞からしか情報をとれない。
- ・きちんと説明してほしい。→住宅の安全性に対する説明。
- ・役場に説明に行っても機能していない。「待って下さい」と言うばかり。
- ・自主避難者の状態の把握と物資の配布をして欲しい。
- ・友達の携帯からの情報が主。避難所の風呂の事も向こうの小学校での掲示板を見て知った。（ここにも貼ってあったかもしれないが）情報の周知をしてほしい。
- ・自主避難の人々の把握と自宅に取り残された人への対応。
- ・被害や危険な場所の把握をしっかりと欲しい。
- ・適切な情報を届けて欲しい。
- ・役場が機能していないので、誰にどのように対応したらよいのかわからない。
- ・必要な情報を届けて欲しい。
- ・カウンセリング先。
- ・必要な情報がほしい。この先、家をどうしていけば良いか、仮設住宅などはいつどうなるかを知りたい。
- ・県、市、町内会長（自治会）間の連携が全く取れていない。そのため私たちが混乱した。市に直接連絡してもダメだった。
- ・乳幼児に関するアンケート調査などもして欲しい。小学生向けは4回ぐらいあったので。
- ・仮設住宅に関する情報がほしい。
- ・「住宅探しの補助」出るのか出ないのか、そのタイミングを教えてください。
- ・県や市、行政同士での情報共有をきちんとして欲しい。
- ・県議員などが一度は来て見てほしい。益城町ばかりではない。他もまだまだ大変。お年寄りもいる。
- ・情報発信をきちんとして欲しい。父母のようなインターネットが使えないような人に対しても情報が入るようにして欲しい。
- ・市町村により情報提供のばらつきがある。

### <指定避難所と自主避難所との格差の解消>

- ・配給の差があるみたい。指定と自主避難の格差。
- ・指定避難所間での支援物資の届き方の差が大きいと感じた。さらに、自主避難と指定避難所との物資の届き方に大きな差があるのが気になる。
- ・職場の人と話す、避難所間での物資の配布状況の差が大きすぎる気がする。
- ・物資の配布も自主避難所の人にも届くようにして欲しい。
- ・子供のオムツの配布を指定避難所にいないことが理由で断られた。外の人間にも平等に配

って欲しい。

- ・自主避難者にも目を向けて対処してほしい。
- ・自主避難者の状態の把握と物資の配布をして欲しい（再掲）。
- ・各自主避難地への支援が必要。
- ・指定避難場所のみ支援物資の配布がある。
- ・自分たちは昼間は車で移動できどうにか生活できたが、一人暮らしで車もなく、公園の「いこいの家」に寝泊まりしていた人たちは、指定避難所になっていないので水も食料も配給がなく、ずいぶん困ったと思う。
- ・公設の避難所だけではなく、各町内で人命救助に頑張っている人たちがいることを調査し物資の配給など考慮すべきである。
- ・大きい避難所ではいろいろなことが出来ているみたいだったが、小さい場所に避難している人にも少しは心配が欲しかった。
- ・地震も終盤だから指定避難所、指定じゃないなど関係ない。行政側の都合で指定にして、数の管理のために避難者の事を考えていない。
- ・食事関係。グランメッセは指定避難所でないため。県も町も対策を。
- ・住民同士の平等、不平等感が最小限になるように早い段階で行政の指針を作ってほしい。
- ・指定避難所とそうでない所での支援の偏りの解消。
- ・避難所間の物資の差があるのを改善して欲しい。
- ・避難場所にいなければ物資とかがもらえない。避難所にあふれた人が集まっているところにも少しでも物資を届けてくれるだけでも安心できる。公平性が欲しい。

#### <支援物資や炊き出しに関すること>

- ・自衛隊にお風呂に入れていただいているが、お風呂よりも、大きなテントや寝れる場所を作ってほしい。温かいものを食べたい。30分以上待ってもいきわたらなかった。なぜお昼にももらえないのか。
- ・全壊で長期化するので、グランメッセや車中泊で過ごすことになる。テントがあれば快適に過ごせる。
- ・炊き出しをグランメッセでも定期的にお願ひしたい。
- ・生活面の支援は続けてほしい。(食事や物資)
- ・炊き出しが必要な場所へ行き届いているか？
- ・仮設住宅が入れない場合などは、テントを寝る場所として貸し出して欲しい。
- ・今は中学生がボランティアしてくれているが、学校が始まると担い手がいない。炊き出しが難しい。

#### <健康・衛生に関すること>

- ・昔テレビで見た段ボールを利用した簡易トイレ等を配布して欲しい。
- ・簡易トイレ等の充実を、指定避難所だけでなく行って欲しい。
- ・簡易トイレが自主避難所にも欲しい。
- ・仮設トイレの場所を増やして欲しい

### <手続きや対応に関すること>

- ・手続きに、いろいろ役所に行かなくてはいけない。時間がかかる。
- ・役所関係の手続きは急がせないでほしい。「早くしないと」と、気があせる。体力がついていかない。
- ・町内の道路わきの危険なブロックの処理等の対処や手続きをスムーズに行って欲しい
- ・罹災証明の発行をスムーズにしてほしい。
- ・次のステップに進めるためにも罹災証明を早くして欲しい。窓口職員を効率的に回して欲しい。
- ・統制がとれていないように思われる。トイレ、物資の分配、ゴミの出し方などパニック状態。町内会などでこういう時の責任者（リーダー）を決めたらいいのではないか。
- ・役場の機能が麻痺している。復興させたいなら役場が早く対応しないと。
- ・罹災証明の申請や行政手続を避難所でできるようにして欲しい。
- ・市などに提出する、届け物、罹災証明の申請、介護用品の受給申請などを避難所でできるようにしてほしい。職員が誰かがわからない。わかるようにしてほしい。
- ・役場の人がちょうど今来ているが、相談すると「わからない、答えられない」と回答。新人の人だけの派遣のようだった。役場の人も被災者だから…。ただ町長はしっかりしてほしい。
- ・役場の職員に問い合わせても、今のところ動きがないので、しっかりして欲しい。（仮設の問題、住民票、罹災証明の申請）
- ・今まで全国各地で震災はあったが、いざ自分の所でなると、行政は混乱している。マニュアルだけでは動けない。
- ・しっかりとした防災マニュアルを徹底的に作っていただきたい。
- ・災害の大きなニーズに対してリーダーシップに欠けており、準備不足を感じる。
- ・最初の対応の遅さ。動きをもっと早くしてほしい。

### <ライフラインの復旧やごみ・がれきの処理>

- ・町内の破壊状況がすさまじく個人で何とかとはとてもできない。ブロック除去とかは、ボランティアでは到底できない。がれき除去とかは、街が復興させないと思うなら、行政力で早めに手をつけてほしい。
- ・道路の片付けを早くしてほしい。道が通れず、荷物も受け取れない。
- ・早いライフラインの復旧。簡易トイレを市役所にたくさんストックしておいてそれを迅速に各公園や避難所に置いていく。
- ・早く工事が進むようにしてほしい。
- ・周辺のゴミ持ってってもらえてない。
- ・空地を確保して被災ゴミを集めて欲しい。罹災証明がないと回収してもらえないのか？
- ・水の復旧を早くしてほしい。
- ・市内のゴミ集積所にゴミが大量にあるので早く回収してほしい。
- ・最初の時は自衛隊のテント設置が間に合わなかった。早いうちに対応していれば車内に変わる避難所としてエコノミー症候群は防げたはず。

### <住宅に関すること>

- ・早く、家の安全性を判定してほしい。
  - ・アパートには赤紙が貼られた。住んでいないのに荷物があるから家賃は払っている。不動産屋からは出て行ってくれと言われているが、住むところが決まらないので荷物も出せない。
  - ・住居の確保を急いでほしい。亡くなった方もいる。(二次・三次)(再掲)
  - ・あちこちに亀裂がはいって怖い。診断士に見てもらえるといいが、一部損壊なのか半壊なのか安心できない。
  - ・訪問して家の検査をしてほしい。
  - ・住むところは何とかしてほしい。
  - ・判定を早くしてほしい。
  - ・早く住めるようにしてほしい。
  - ・判定を早くしてほしい。
  - ・家の安全性を調査してほしい。
  - ・「住宅探しの補助」出るのか出ないのか、そのタイミングを教えてください。(再掲)
  - ・今、賃貸に住んでいる。敷金返すからと大家に言われ戸惑っている。
  - ・家の片づけ自分の手の力ではできない。罹災証明で代替使用。かといってお金だけもらっても敷地が広いのでお金がたりない。
  - ・他県の移住ではなくここで(住んでいた家で)住めるように支援してほしい。
  - ・判定を早くしてほしい。
  - ・住居などの生活の基盤を整えることを優先的にしてほしい。
  - ・今後の住まいに関してもバリアフリーなどにも配慮してほしい。
- アパートの2階以上に高齢者の入居は難しい。避難所も厳しいので車内生活を選んでいる。

### <仮設住宅への入居や公営住宅に関すること>31

- ・仮設住宅が少ない。今までと同じような生活にもどれたらいいので。
- ・早く住む場所を作ってほしい。アパートでも仮設でも。
- ・市営住宅への入居が震災のためにとり消された。母子家庭で被災者である自分達に優先的に住宅を振りわけて欲しい。
- ・住居の確保を急いでほしい。亡くなった方もいる。(二次・三次)
- ・仮設住宅への入居。優先順位があって一部損壊ではダメだといわれる。
- ・仮設住宅を自宅の近くに早く建ててほしい。今はまだアンケートの段階。仮設が早く出来ればいいが、できるまでには何か月もかかる。小学校のホールにいつまでもいるわけにはいかず。遠方に住宅があっても職場はここなので入れない。洗濯・食事の世話もしなければいけない。家にはまだ物もあり窓も壊れていて、泥棒に入られるかもしれない。ガラスを入れるお金もほしい。住む場所の確保が必要。
- ・みなし仮設住宅や低利の貸付。
- ・仮設住宅の準備と生命保険のプランが合わさった支援が欲しい。
- ・仮設住宅を多く建てて欲しい。
- ・子供が居る家庭や一人暮らしの人を優先的に入居させて欲しい。

- ・住むところがどうなるかわからない。
- ・必要な情報がほしい。この先、家をどうしていけば良いか、仮設住宅などはいつどうなるかを知りたい。(再掲)
- ・住むところは何とかしてほしい。(再掲)
- ・仮設住宅を作してほしい。
- ・早く住めるようにしてほしい。(再掲)
- ・早く仮設がほしい。
- ・仮設住宅に関する情報がほしい。(再掲)
- ・仮設住宅を早く建ててほしい。
- ・早く仮設をつくってほしい。全壊・半壊でない人も。
- ・一部損壊の人も仮設住宅への入居対象にして欲しい。
- ・仮設に早く入りたい。
- ・仮設住宅に早く入れるようにしてほしい。平等も大事だが、弱者(仕事していない、母子家庭など)を優遇してほしい。
- ・県営住宅の「6ヶ月」という有効期限の契約が不安。出て行く先がなかったら、更新できるのか?その場合の家賃は?
- ・帰る場所の確保を早くしてほしい。
- ・仮設を早くつくってほしい。
- ・「仮設住申」はどこに、いつなのか。それができるまではここにいるしかない。入れるかどうかもわからない。
- ・仮設を早くつくってほしい。
- ・県に対して、県営・民間の借り上げ・無償供与を検討しているようだ。住める場所をみなにいきわたるように。これは県ではなく国が。(県が早くできればいいが、限界があるだろうから)
- ・一部損壊では公的な住宅の申し込みができない。できたとしても今の生活圏を離れてしまう。近くで入居できるところがほしい。
- ・アパートが危険で出なくてはいけない。我々のような状態の人には優先的に仮設住宅に無料で入れるようにしてほしい。
- ・必要な仮設を早く作ってあげてほしい。

#### <修復費・補償などに関すること>

- ・支援金の配分。補償費を支給してほしい。修復費などの手助けをしてほしい。
- ・ローンなど、手続きがなくても自動的に免除にしてほしい。
- ・家の修理費を出してほしい。
- ・水道管の破裂の補修など、行政に費用負担をお願いしたい。
- ・物資より、資金援助するべき。
- ・仮設の準備と生命保険のプランが合わさった支援が欲しい。(再掲)
- ・「一部破損」の住居への公的補助金が欲しい。
- ・住宅の損害についての助成金を充実させて欲しい。
- ・地震保険に入っていない。どのようになるのか不安。子どもが大学に今年から入っている。

お金がかかるので支援はないか？家のローンも残っている。

- ・マンションの内外装の責任範囲はどのようになるのか？
- ・住居の回復や仮設住宅居住者などに対する経済的援助。
- ・緑の紙には補助が出ない。お金を自己負担しなければならない。
- ・家の修理代（費用）をみてほしい。地震保険も被害少ないと全くでない。
- ・フロ、食事などで日に1万円ほど使っていた。資金面の補助。
- ・一部損壊にも補助金の支援。
- ・生活再建のための支援。
- ・お金は世帯単位に払われるだろうか、農家は敷地広いのでそこを勘案してほしい。
- ・義援金はどうなるのか教えてほしい。
- ・住宅の修繕費。
- ・耐震構造の家を建てるための補助金をもっととって欲しい。
- ・住居などの生活の基盤を整えることを優先的にしてほしい。（再掲）

#### <避難所に関すること>

- ・赤ちゃんを連れての避難で授乳などの際に専用スペースがほしい。熊工にはなかった。そのために避難所を出ざるをえない、使えない。
- ・避難所は支援が必要な人に固めるべき。（土地が無いので）
- ・指定避難所は人が多すぎてパンクしていた。もっと避難所を増やして、避難できるようにして欲しい。そうすれば、給水所まで遠くなくてすむ。
- ・母の妹が避難所に避難し、下肢が動きづらくなり通院が必要と思うぐらいだが、誰も気づいてもらえていない。身内として心いたい。指定避難所ならば専門職が避難所の状況に目配りして対応してもらいたい。

#### <仕事に関すること>

- ・自分達では無いがタバコ農家は大変。今年作れなかったら来年の国からの作付枠が無くなる。（種を蒔かないとお金がもらえない。）それで雨の中でも必死に仕事をしている 廃業に成っても補助は無い。何とかするべきだ

#### <治安に関すること>

- ・空き巣、不審者が倒壊家屋に出没している。迷彩服を着た自衛隊風の不審者がいる。

#### <子どもや高齢者へのケア>

- ・子どもの精神ケア。
- ・乳幼児を保育士さんなどに預けられればいいのに。
- ・小さい子どもの支援はもっと丁寧なすべき。

#### <その他>

- ・家の水 修復といっても、業者が見つからないらしく、未定の状態。
- ・女性、子供等優先にして弱者に支援してほしい。

- ・弱者にやさしい県にしてほしい。
- ・県立高校も避難所にして開校すれば良いのでは？ 2～3日経ってから開校されたが直ぐに閉められた。カルチャーセンターが溢れているのに&必要な人が居ると思うのに閉められた。臨機応変にやって欲しい。高校生もボランティアに使えるだろう。
- ・自分の家は大丈夫だが、全壊の人たちには早く安心できるようにしてほしい。
- ・再建の方向性を早く出して欲しい。いろいろな支援を組み合わせる自力再建を自らできるようにしてほしい。
- ・ボランティアの受け入れや使い方がうまくいっていない。どんどん受け入れて、物資を届けて欲しい。町の人だけに頼りすぎ。
- ・病院を早くあけてほしい。
- ・物資は結構きているが人がいない。地震が慣れていない状態で精神的なダメージを受けている人が実は多い。2回目の地震でダメージあった。
- ・空き教室に食料備蓄しておけばよかった。少子化での空き教室の利用法を考えるべき。・ボランティアの心身や食事の配慮をするべき。休ませてあげるとか、炊き出しを出すとか。
- ・給水への備えがもう少ししっかりしていればよかった。

**7. (2) では、民間の団体（支援のNPO団体）やボランティアに対して、何か要望（こういったことをして欲しいということ）」がありますか。**

- ・NPO等の活動はTVで見て良くやってもらっていると思うが、具体的に「何がしてもらえるのか？」といった知識がなく、要望のイメージがわからない。
- ・ありがたい。これ以上、要望などない。
- ・ありがたいだけ。とてもありがたい。子どもがたきだしのレクリエーションで、久しぶりに笑っていたのでうれしかった。
- ・今のところ満足。
- ・今のところよくしてくれているという感じ。
- ・とても支援してもらっている。助かっている。これ以上、何も要求などない。
- ・たき出しの場所にカメラ、TVカメラがなぜ入るのか。カメラをなくしてほしい。
- ・感謝の一言。
- ・一人にいる人々に声をかけていってあげて欲しい。
- ・引きこもりや、コミュニケーションの問題を抱えている避難者に積極的に声かけして欲しい。
- ・エコノミークラスSDへの対策のダンス教室や子供たちのレクリエーション的ケアがあると自分の負担も軽減できるので行って欲しい。
- ・上記のこと（行政への要望）を行政に伝えて欲しい。
- ・テントがあつたらいい。おしぼり、ウェットティッシュなども
- ・自主避難の現状を公共に広く伝えて欲しい。
- ・アパートのあとかたづけを手伝ってほしい（持病があるため）。
- ・自分たちの酔うな状態の者の声を政府（公的機関）に届けて欲しい。



- ・家の中には入ってほしくない。話を聞いてくれる事は嬉しい。
- ・健康診断。法律相談（生計の相談）。心を軽くする。
- ・弱っている人（メンタル）の話を聞いて欲しい。
- ・自宅などの片付けは自分達でできるので必要なし。
- ・感謝で一杯。学校にもいろいろ来てもらっていろいろなことをしてもらって要望というよりお礼を言いたい。
- ・応急修理をしてほしい。ブルーシートは夫が張ったが、サッシのガラスを入れるなどの応急修理をしてくれる人がほしい。子どもがガラスに貼るフィルムを買ってきて貼ってくれたが。
- ・子どもたちの遊び相手になってほしい。
- ・怪しい団体も有る お金を吹っ掛けたりする様な事は止めるべき。
- ・ペットのサービスを自分は受けているので もっと充実したら良いと思う。
- ・自主避難所間の物資の配布の格差を補う努力と現状を行政に知らせる努力をして欲しい
- ・行政を利用してお金を引き出すのではなく。本来の目的の為に活動して欲しい。
- ・現状を行政に伝えて欲しい。
- ・物資の輸送のルートが成立しない時点での支援の方法について考えて欲しい。（送って貰っても物資が届かなかった）
- ・情報をつないで欲しい。
- ・テントやベッドを設置して欲しい。
- ・物資など十分にもらっている。
- ・十分にしてもらっている。
- ・炊き出しなどの情報をわかるようにしてほしい。
- ・お年寄りの一人暮らしの方等の片付けや買い物（車を出してもらえるなど）のボランティアが少ないと感じた。
- ・よか隊ネットさんから支援物資を頂きました。
- ・ボランティアの方々には頭が下がります。
- ・どんどん来て片付けてほしい。
- ・子どもが遊ぶようなイベントがあって欲しい
- ・ボランティアの人が多く、来てくれるだけでうれしい。
- ・ボランティアの人はお年寄りの相談やメンタルケアの対応してもらっている。”
- ・住むところなどの情報がほしい。
- ・家の中の片づけをボランティアさんに手伝って欲しい。
- ・私たちよりももっと困ってる人たちを応援してあげて。
- ・ボランティアの情報をお年寄りが遠慮せずに活用できるよう工夫してほしい。家の片付けなど。
- ・適度がいい。あわれみではなく適度に。被害の人とある程度の距離を保ちながらケアしてほしい。
- ・廃棄するものを片付け手伝い。ある程度まとめた後にしてもらいたい。
- ・TVの取材が車幅とって何社も来るので、これをどうにかして欲しい。
- ・家の中片付け、手伝ってほしい。

- ・炊き出しは助かっている。
- ・できたらここにも早く炊き出しに来て欲しかった。
- ・仮設など入れるようになったら荷物の移動・炊き出し。
- ・献身的にやっていただいている。
- ・車中泊して肌が荒れる。肌が弱かったりアレルギーに対応した化粧水などがあるとうれしい。
- ・炊き出し、ありがたい。野菜食べたい。野菜不足で体調もよくない。
- ・農協が手伝ってくれる。夏とか、その後に人手が必要な時期に人手がほしい。
- ・農業関係でわかる人がほしい。”
- ・炊き出しは助かる。
- ・全国から来ていただき助かっています。
- ・来てくれて話してくれるだけでうれしい。
- ・来てもらえるだけで心強い、お年寄りには特にそうでは？
- ・物資を届けてほしい。目に見えない被災者がいる。お年寄りにとっては出歩くのも大変。
- ・行政窓口働きかけて欲しい。
- ・物資の支援より、今後の相談先などが知りたい。
- ・避難所間の差を補完する動きをして欲しい。
- ・全然回って来なかったので、早くに回って来てほしい。
- ・子どもたちの相手をして欲しい。その間、片付けできる。
- ・民間企業の対応が早くて助かっている。
- ・高齢者の方へ早く対応して欲しい。
- ・仮設トイレで洋式のものほしい。
- ・在宅の人たちに物資や支援情報がとどいていないので気にかけてほしい。
- ・NPOで子供たちの遊びのボランティアが来ているが、4歳から小学生までといった年齢制限もあるので、乳幼児など小さい子供もみてほしい。

## 8. 最後に、ご自身やご自宅の状況などについてお教えてください。

### (1) 性別

	度数	%
男性	61	46.6%
女性	69	52.7%
不明・無回答	1	0.8%
合計	131	100.0%

### (2) 年齢

項目	度数	%
10歳代	1	0.8%
20歳代	12	9.2%
30歳代	19	14.5%
40歳代	33	25.2%
50歳代	26	19.8%
60歳代	27	20.6%
70歳代以上	12	9.2%
不明・無回答	1	0.8%
合計	131	100.0%

### (3) 車中避難前の世帯の状況

項目	度数	%
単身	18	13.7%
夫婦	21	16.0%
夫婦と子ども	37	28.2%
その他	53	40.5%
不明・無回答	2	1.5%
合計	131	100.0%

(前問で2～4の方へ) 現在、一緒に車中避難されておられますか。

	度数	%
一緒に車中避難	66	50.4%
別々に避難生活している	38	29.0%
その他	4	3.1%
単身者	18	13.7%
不明・無回答	5	3.8%
合計	131	100.0%

(前問で2、3の方へ) 別に生活されている方は、どなたで、どちらで生活されておられますか

動植物園駐車場	娘(子供)、阿蘇の親類の家に。
動植物園駐車場	母はおばの家、息子は一緒に車中で生活したくないと言って、友達の家(友達は車を2台持っている)を借りて寝ている。
マルミツ東バイパス店駐車場	娘、アルバイト先
マルミツ東バイパス店駐車場	兄は別の車、母は親戚(熊本県嘉島町)
マルミツ東バイパス店駐車場	母は親戚のところ。弟は車(別のところで)

錦ヶ丘公園	妻の実家に夫と自分の両親が住んでいる。
不定	母が親戚宅に
サンロードシティ（東区）駐車場	夫と長男は自宅（本人のみ車中泊）
サンロードシティ（東区）駐車場	夫は自宅。2週間一緒にいたが昨日から自宅。ヘニルアで腰が痛く、車でねられない。
サンロードシティ（東区）P	子供と妻は夜、小学校の避難所で寝ている
御船町恐竜公園	おばあちゃん（本人の母）、息子の嫁、孫だけ別に避難
七滝中央小前駐車場	夫の母は避難所（92歳）、夫の父（99歳）は山鹿のショートステイ
江津の自宅前	妻は自宅に居る
御船町恐竜公園	娘夫婦は娘の夫の実家
御船町恐竜公園	母はショートステイに29日に入れた
御船町高木（自宅前）	長男は長男のいとこの家に避難
グランメッセ	賃貸前のため、熊本市に家はない
出水南公園	もと通りの生活に戻っています
北区新地公園	していない
北区新地公園	現在は車中泊していません。
北区新地公園	車中泊していない。自宅にいます
香の森公園	夫婦はテント、母は足が悪いので車中泊
出水中学校	祖母、避難所、両親、妹別の車
出水中学校	祖母が避難所
グランメッセ	夫のみ自宅で生活中。
グランメッセ	今は自宅。本人は離れなので自分だけは帰ってない。
グランメッセ	祖母は特養のショートステイ
グランメッセ	ペット・祖母のみ、親戚の家
グランメッセ	95歳の母が熊本市のいとこの家
グランメッセ	両親は自宅に戻っている
グランメッセ	姉の会社の寮（1R）
グランメッセ	母→入院
井手の口公園	本人は車中、家族などはテント。今はテントで寝ることも多い
よこばたけ公園	娘と夫は家
桜木小学校	最初の一週間は両親と一緒に、現在は両親は家に戻っている。
ハローデイさくらの森店	益城スポーツセンター（避難所）で車中生活
水前寺江津湖公園	母が県外の兄弟の家へ避難中

	エミナース	義母は施設に入所
	エミナース	エミナースの中に妻と子供が避難
	グランメッセ	義母は車、母+子2人は車、 父は家の空いているところ
	グランメッセ	妻・娘が親類の家に避難している。

#### (4) ご自宅の状況

項目	度数	%
全壊・半壊状況	31	23.7
全・半壊ではないが、かなり損傷を受けた	55	42.0
あまり損傷を受けていない	42	32.1
不明・無回答	3	2.3
合計	131	100.0

→ (前問で2、3の方へ) 家具等の片付けはいかがでしょうか。

項目	度数	%
ほとんど片付いていない	32	24.4
あまり片付いていない	20	15.3
かなり片付いている	16	12.2
ほぼ元通りに片付いている	23	17.6
非該当(全壊・半壊)	31	23.7
システム欠損値	9	6.9
合計	131	100.0

(5) ご自宅はこの近くでしょうか(被災されたのはこのお近くでしょうか)。

項目	度数	%
今と同じ町内	59	45.0
1～3km以内	48	36.6
4～5kmくらい離れたところ	16	12.2
6～10kmくらい離れたところ	5	3.8
不明・無回答	3	2.3
合計	131	100.0

(6) 一緒に住んでいたご世帯の方、行政(市町村)、自衛隊以外で、今回の地震で困ったときに頼りになる人や組織はありますか。

項目	人数	%
ある	85	64.9%
ない	33	25.2%
不明・無回答	13	9.9%
合計	131	100.0%

(前問で1の方へ) それはどのような方・組織ですか。(あてはまるものすべて)

項目	人数	%
家を出ているが、近く(市内や近隣の市町村)に住んでいる子ども	12	9.2%
家を出て、遠くの市町村や県外に住んでいる子ども	4	3.1%
親戚	43	32.8%
支援をしているNPO	7	5.3%
その他	60	45.8%
不明・無回答	5	3.8%
合計	131	100.0%

「その他」の内訳(自由記述)

車中避難場所	8. (6) 頼りになる人・組織「5. その他」(具体的に) (自由記述)
動植物園駐車場	職場の友人(病院勤務。入院する方の3人は避難者の方。医療関係なので職場のケアあり)
マルミツ東バイパス店駐車場	夫の会社の人
マルミツ東バイパス店駐	友人(近くに住んでいる)

	車場	
	マルミツ東バイパス店駐 車場	友人
	マルミツ東バイパス店駐 車場	町内会長
	錦ヶ丘（マンション駐車 場）	同じマンションのとなりの方
	錦ヶ丘（マンション駐車 場）	マンションのとなりの方
	マルミツ東バイパス店駐 車場	同じマンションの人々
	錦ヶ丘公園	息子さん一家（共に車中生活）
	錦ヶ丘公園	兄弟
	錦ヶ丘	近所、友人（昔からの友人）
	綿ヶ岡公園	町内会の人たち。自宅の町内会
	錦ヶ丘公園	友人
	不定	友人
	マルミツ東バイパス店駐 車場	日頃一緒に活動している仲間達
	サンロードシティ(東 区)P	友人
	七滝中央小前駐車場	長男の職場の方。ボランティアで畳を運び出してくれた。子供4人、長男は益城、次男は愛知県
	御船町スポーツセンター	友人
	御船中学校P	友人
	御船町恐竜公園	友人
	江津の自宅前	近所の人達 近所の繋がり
	御船町恐竜公園	同じマンションの住人
	御船町恐竜公園	友人（甲佐町）
	御船町恐竜公園	友人 息子の家族
	御船町恐竜公園	友人 近所の方
	御船町高木（自宅前）	近所のコミュニティ 弟の人的ネットワーク
	グランメッセ	近所の人たち
	グランメッセ	近所の知人
	出水南公園	自治会
	出水南公園	町内会
	北区新地公園	ボーイスカウト
	北区新地公園	ボーイスカウト
	北区新地公園	ボーイスカウト

香の森公園	お店つながりの仲間
出水中学校	妹さん
グランメッセ	近所の人達
グランメッセ	友達
グランメッセ	同級生。通水が地域によって異なるので情報交換しながら。
グランメッセ	県外の友人
グランメッセ	会社の人
井手の口公園	町内の関係や地元の消防団
井出の口公園	町内会・自治会
よこばたけ公園	消防団
桜木小学校	遠方の友人
ハローデイさくらの森店	ボランティア。個人的にはない。
アタックス駐車場	近所の方
水前寺江津湖公園	カラオケ屋さんのママとお客さん
水前寺江津湖公園	夫婦ではないが、恋人関係の相手
水前寺江津湖公園	会社に相談できる
水前寺江津湖公園	実家と同一町内の友人
サンロードシティ	職場の人
エミナース	消防団、近所にいた人
エミナース	近所の人
エミナース	コミュニティがしっかりしている
グランメッセ	友達
グランメッセ	住んでた地区の自治会長
グランメッセ	近所の人たち
グランメッセ	町内会長



2016年4月 熊本地震  
車中避難をされておられる方々への支援のためのアンケート  
Ver. 3(2016. 5. 1)

○場 所：

○時 間：        月        日        :        ~        :

○調査員：

※「お願い」の際、本アンケートへの回答が初めてかどうかを確認する。

1. 最初に、今回車中避難を始められたときのことについてお尋ねします。

(1) いつごろから車中避難(寝泊まり)されるようになりましたか。

4月(        )日(        時ころ：朝・昼・夕方・夜ころ)から

※前震：4月14日21:26 / 本震：4月16日1:25

(2) 車中避難を始められたのは、どういったご事情でしょうか。

自由記述

※お答えをもとに調査員が記載(あてはまるものをすべて/適宜確認する等、臨機応変に)

1. 再び大きな地震があるのではないかと不安なため
2. 余震が続いていて、自宅で寝るのが不安なため
3. 自宅に大きな損傷があり、住める状態ではないため
4. 自宅には目立った損傷はないが、家具などが片付いていないため
5. いざというときに逃げるためには車が必要なため
6. 避難所が近くにないため
7. 避難所での生活より車中避難の方がよいと思うため(→理由：

)

※○をつけるかどうかにかかわらず、避難所を選ばなかった理由は尋ねてください。

8. 水やガスなど、生活に必要なものが不便なため
9. その他(        )

(3) 今挙げた中で最も大きなもの(事情)はどれでしょうか。

(        )

(4) ずっとここ(この公園等)で車中避難されておられるのですか。それとも、何度か場所(公園等)を変えられましたか。





たことをして欲しいということ)」がありますか。

8. 最後に、ご自身やご自宅の状況などについてお教えてください。

- (1) 性別 1. 男性 2. 女性  
(2) 年齢 1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代  
5. 60歳代 6. 70歳代以上

(3) 車中避難前の世帯の状況

1. 単身 2. 夫婦 3. 夫婦と子ども ( 人) 4. その他  
( )

→ (前問で2~4の方へ) 現在、一緒に車中避難されておられますか。

1. 一緒に車中避難 (複数台で避難も含む)  
2. 別々に避難生活している  
3. その他 ( )

→ (前問で2、3の方へ) 別に生活されている方は、どなたで、どちらで生活されておられますか (たとえば「妻の実家」、「避難所」等)。

( )

(4) ご自宅の状況

1. 全壊・半壊状況  
2. 全・半壊ではないが、かなり損傷をうけた  
3. あまり損傷を受けていない

→ (前問で2、3の方へ) 家具等の片付けはいかがでしょうか。

1. ほとんど片付いていない 2. あまり片付いていない  
3. かなり片付いている 4. ほぼ元通りに片付いている

(5) ご自宅はこの近くでしょうか (被災されたのはこのお近くでしょうか)。

1. 今と同じ町内 (すぐ近所)  
2. 今と同じ小学校区内 (ここから1~3km以内)、車で10-15分以内  
3. ここから4~5kmくらい離れたところ、車で16~30分以内  
4. ここから6~10kmくらい離れたところ、車で31~40分以内  
5. それ以上離れたところ (→どのくらいですか kmくらい)

(6) 一緒に住んでいたご世帯の方、行政 (市町村)、自衛隊以外で、今回の地震で困ったときに頼りになる人や組織はありますか。

1. ある 2. ない

→ (前問で1の方へ) それはどのような方・組織ですか (あてはまるものすべて)

1. 家を出ているが、近く (市内や近隣の市町村) に住んでいる子ども  
2. 家を出て、遠くの市町村や県外に住んでいる子ども  
3. 親戚  
4. 支援をしているNPO

5. その他 ( )

(7) 現在、地震や支援の情報については、どのような手段で得ておられますか。あてはまるものを全てお選びください。

1. 新聞 2. ラジオ 3. テレビ 4. 友達などからのメール 5. インターネット  
6. 行政からのチラシ 7. 避難所掲示板等の貼り紙 8. その他

( )

→今挙げた中で、自分にとって最も役に立つものはどれでしょうか。

( )

以上で終わりです。ご協力いただき、誠にありがとうございました。(粗品をお渡りする。)